The background features several overlapping circles and patterns. At the top center is a large circle with many thin, concentric lines. To its right is a solid gray circle. Below the concentric circle is a large circle filled with a grid of small dots. To the right of the dot circle is a large circle with diagonal hatching. At the bottom center is a small solid gray circle.

## 第2章

# 高齢者を取り巻く現状と将来の姿

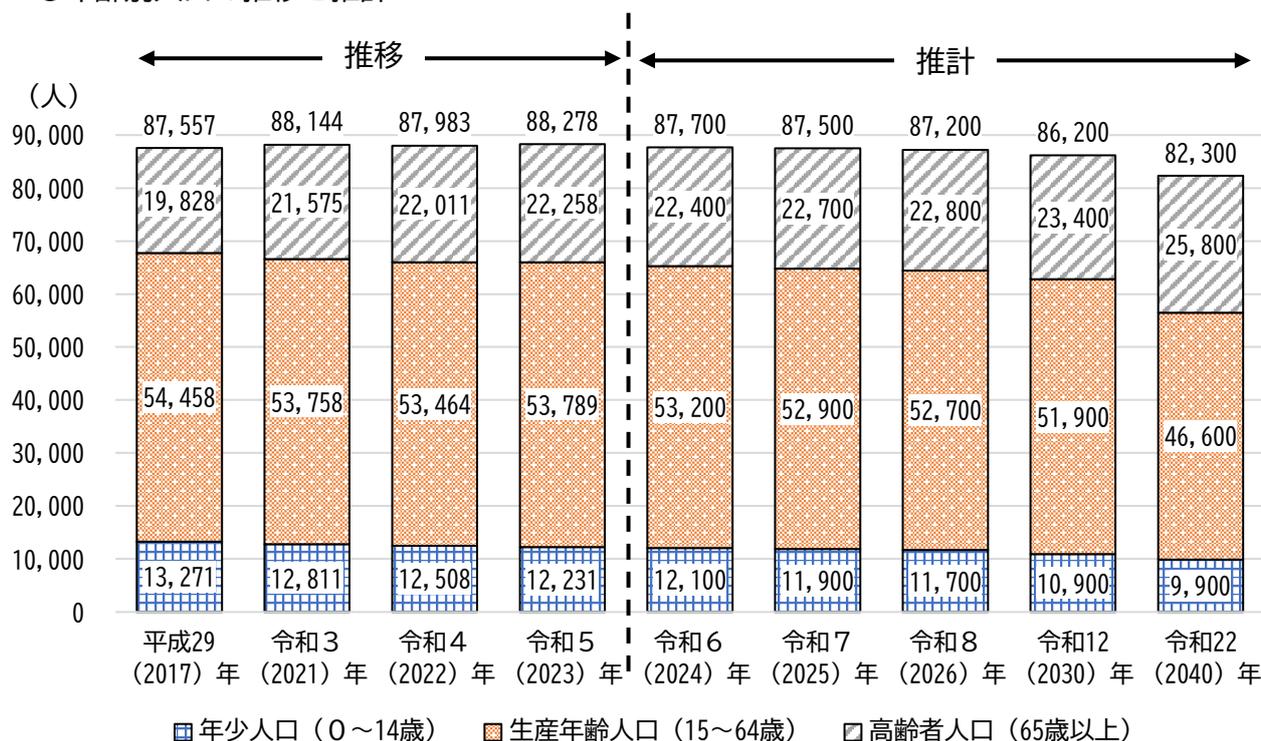
## 第2章 高齢者を取り巻く現状と将来の姿

### 1 袋井市の高齢者の状況

#### (1) 人口と高齢化率

本市の人口は、令和6年以降、高齢者人口（65歳以上）は増加し続け、総人口と生産年齢人口（15～64歳）は減少する見込みです。

○年齢別人口の推移と推計

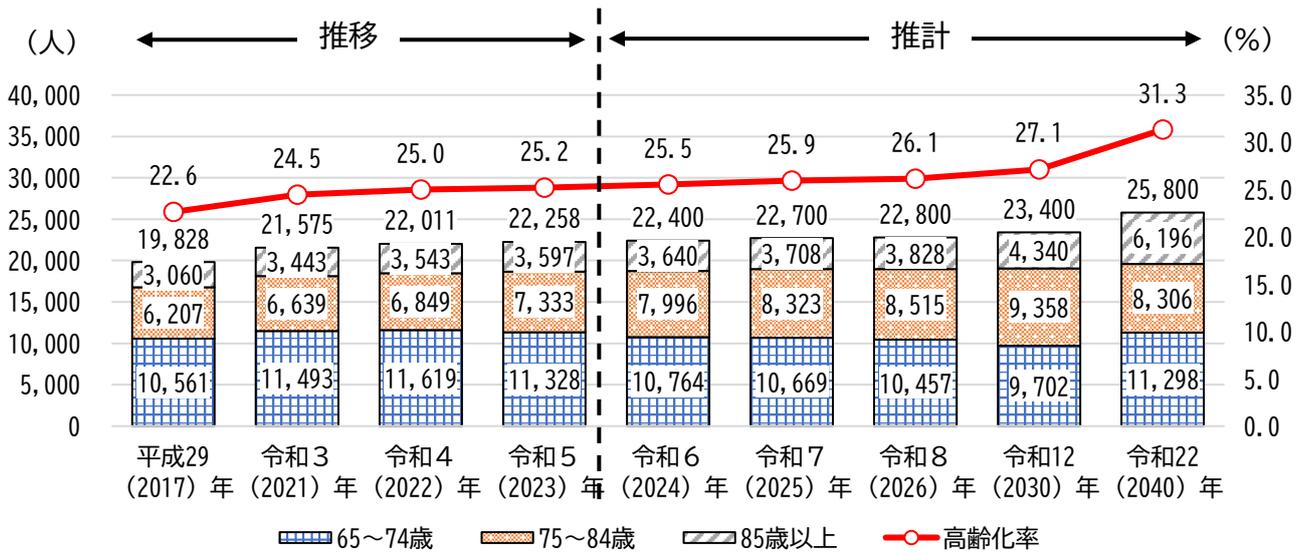


資料：実績値…袋井市人口・世帯数の推移（各年4月1日現在）  
推計値…袋井市総合計画を参照（各年4月1日現在）

高齢者人口をみると、令和6年以降、65～74歳は令和12年まで減少し、令和22年に向けて増加する見込みです。75～84歳は令和12年まで増加する見込みです。85歳以上は令和6年以降増加し続ける見込みで、令和5年と比べ令和22年には85歳以上高齢者数が約1.7倍増加する見込みです。

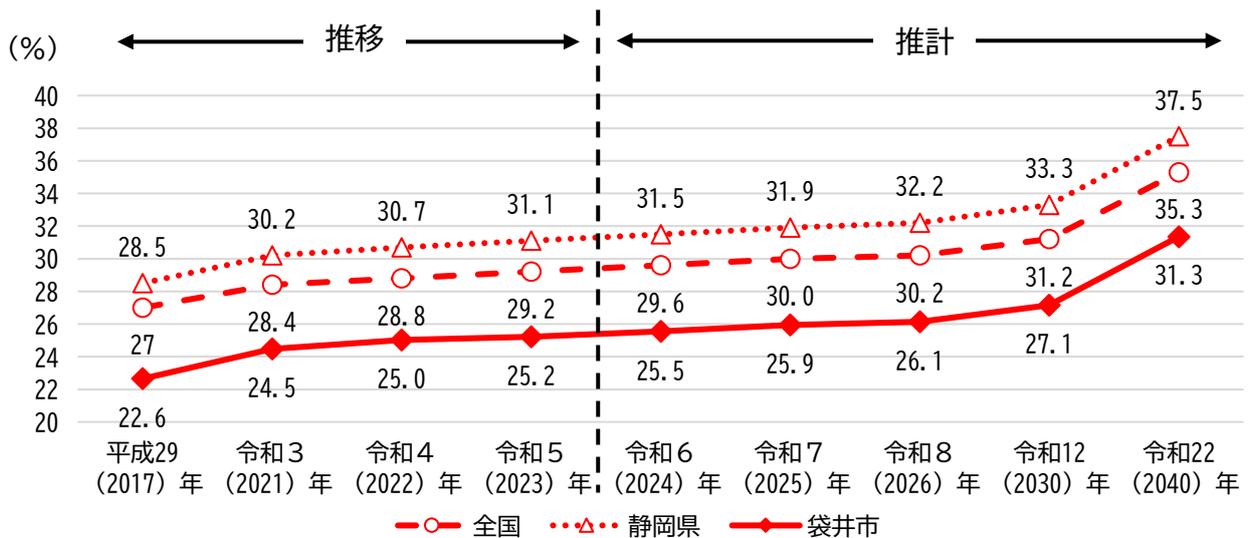
高齢化率も令和22年にかけて上昇する見込みです。国や県と比較すると本市の高齢化率は低くなっていますが、地区別に見ると高齢化率が40%を超えている自治会もあります。

○高齢者人口・高齢化率の推移と推計



資料：実績値…袋井市人口・世帯数の推移（各年4月1日現在）  
推計値…袋井市総合計画を参照（各年4月1日現在）

○高齢化率の推移比較（全国・静岡県）



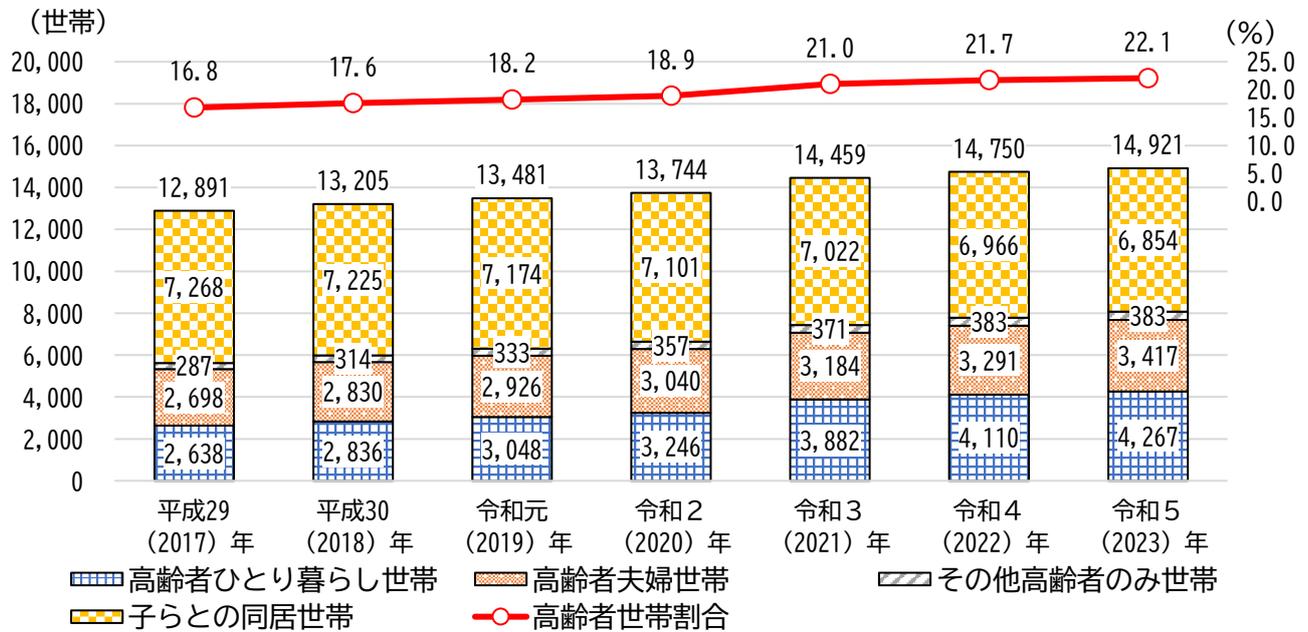
資料：実績値…袋井市人口・世帯数の推移（各年4月1日現在）  
推計値…袋井市総合計画を参照（各年4月1日現在）  
国・県…地域包括ケア「見える化」システム

## (2) 高齢者のいる世帯数と高齢者世帯数の割合

本市の高齢者世帯数は年々増加しており、総世帯数に対する割合も増加傾向にあります。

平成30年以降は高齢者ひとり暮らし世帯が高齢者夫婦のみ世帯数を上回り、子らとの同居世帯は減少し続けています。

○各高齢者世帯数の推移と割合



資料：高齢者福祉行政の基礎調査（各年）

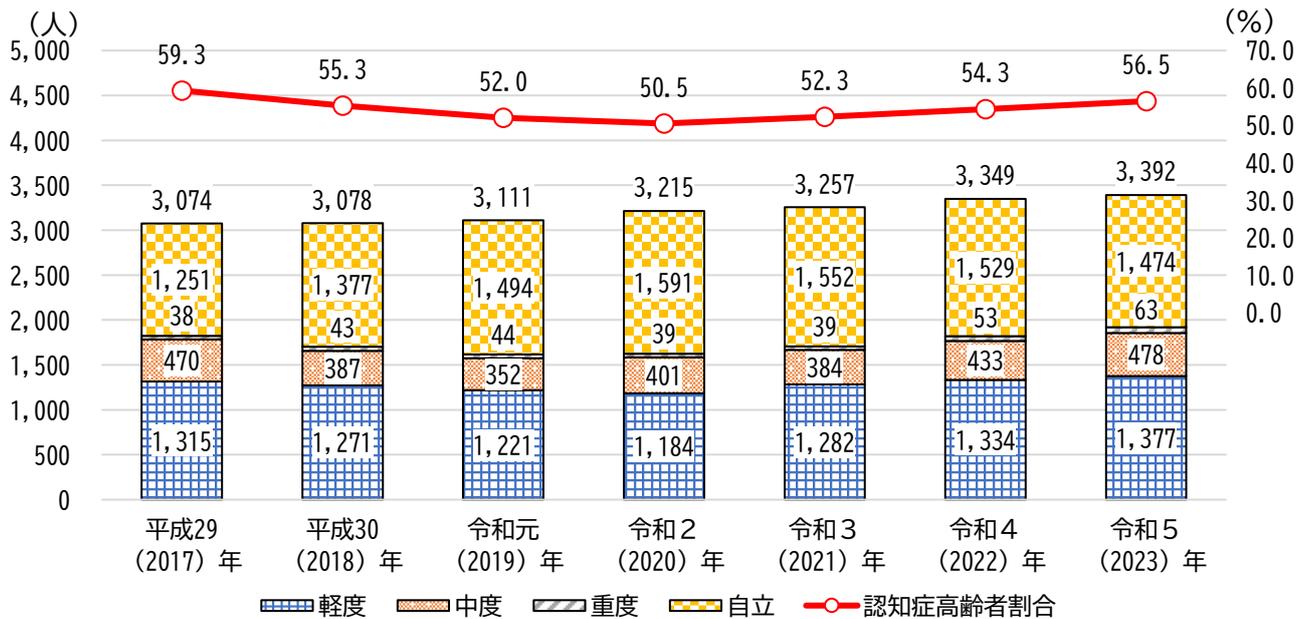
※その他の高齢者のみ世帯は、高齢者（65歳以上）世帯から「高齢者ひとり暮らし世帯」「高齢者夫婦のみ世帯」を除いたもの（具体的には高齢者親子、兄弟等）

### (3) 認知症高齢者数の状況

要介護（要支援）認定者のうち、認知症高齢者数は年々増加しています。日常生活自立度の内訳をみると平成29年から令和2年までは、「自立」が増加していましたが、令和3年以降は日常生活に支障をきたす認知症の症状がある「軽度」以上が増加傾向にあります。

なお、本市における認知症の有病者数の推計は、令和12年は4,867人、令和22年は5,521人とされています。

○要支援・要介護認定者数の認知症判定の推移と割合

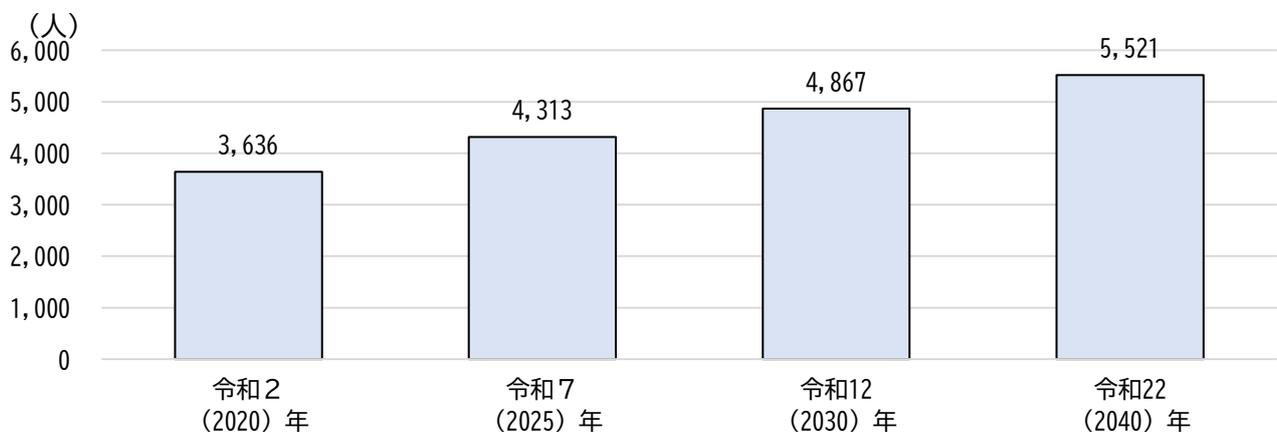


資料：認定調査票における「認知症高齢者の日常生活自立度」（各年9月末現在）

軽度＝Ⅱa・Ⅱb、中度＝Ⅲa・Ⅲb、重度＝Ⅳ・M、自立＝自立、I

※市外認定者及び要介護認定を受けていない認知症高齢者は含まない。

○認知症有病者数（推計）



資料：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業）報告書を基に算出  
 ※各年齢層の認知症有病率が2012年以降一定であると仮定した場合。

### (4) 高齢者の就業状況

65歳以上高齢者の就業状況について、令和2年の本市の労働力率人口割合は29.2%となっており、静岡県と比べて高くなっています。

また、労働力率を男女別にみると、男性では37.5%、女性では22.1%と男性の方が高くなっています。

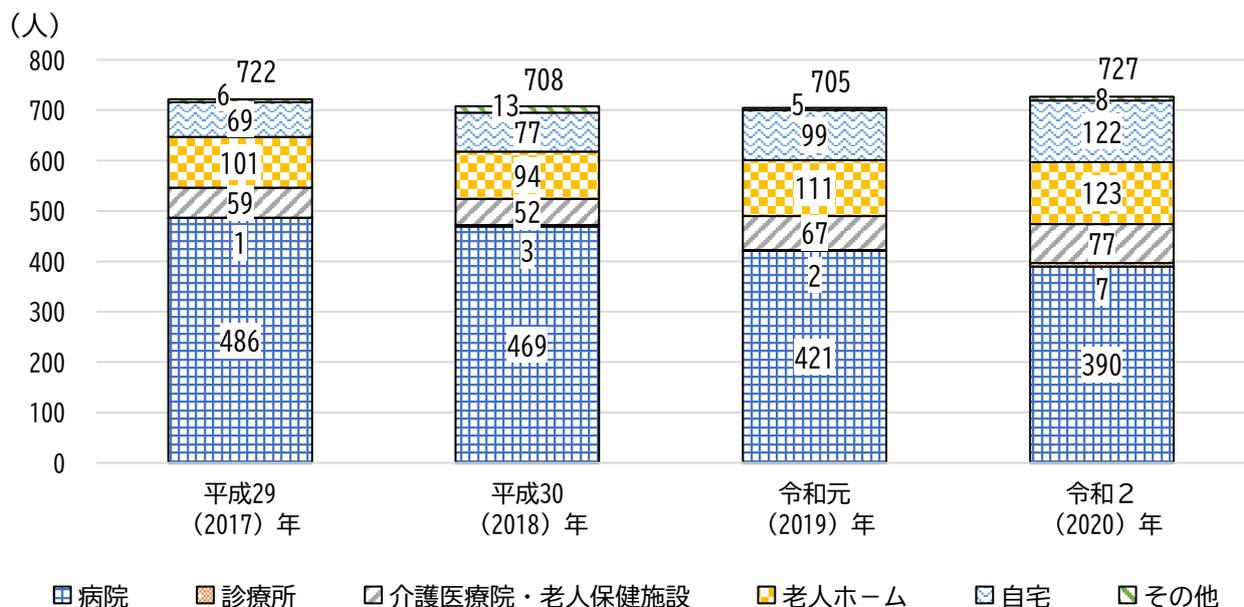
(上段：人 下段：%)

	総数	労働力人口		非労働力人口	不明	
		就業者	完全失業者			
65歳以上	21,310	6,221	5,984	237	14,724	365
	—	29.2	28.1	1.1	69.1	1.7
男性	9,796	3,677	3,490	187	5,921	198
	—	37.5	35.6	1.9	60.4	2.0%
女性	11,514	2,544	2,494	50	8,803	167
	—	22.1	21.7	0.4	76.5	1.5%
静岡県	1,084,282	298,270	288,835	9,435	751,118	34,894
	—	27.5	26.6	0.9	69.3	3.2

資料：令和2年国勢調査

### (5) 死亡した場所の状況

65歳以上高齢者の死亡した場所について、「病院」が最も多くなっています。また、平成29年度以降は「自宅」が増加を続けています。



資料：静岡県人口動態統計

※「老人ホーム」とは養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいう。「自宅」にはグループホーム、サービス付高齢者向け住宅を含む。

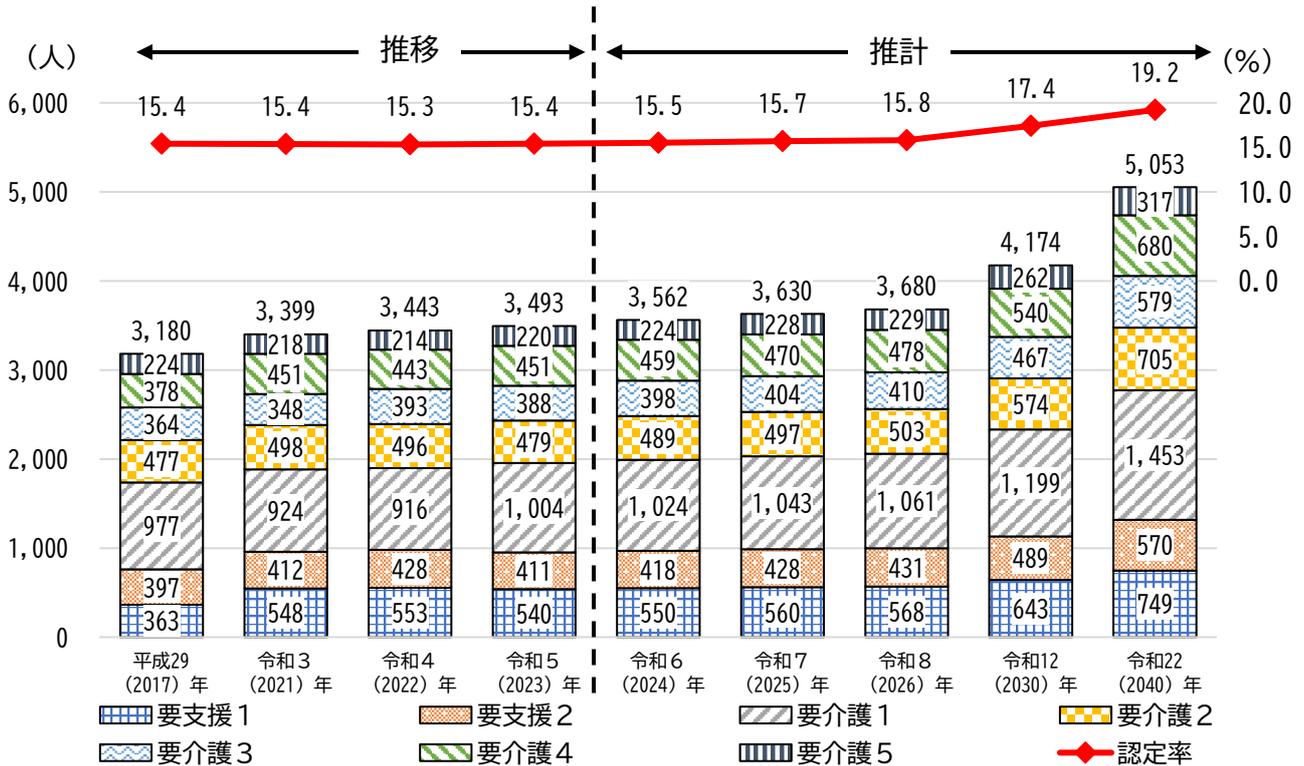
## 2 要支援・要介護認定者等の現状

### (1) 要支援・要介護認定者数・認定率

令和6年以降、認定者数認定率共に増加の見込みですが、特に要支援1・2や要介護1の介護度の低い認定者数の増加が見込まれます。

また、第1号被保険者が増加傾向にあるのに対して、第2号被保険者数は横ばいに推移すると見込まれます。

○要支援・要介護認定者数と認定率の推移と推計



資料：認定者数…介護保険事業状況報告（月報）

認定率…第1号被保険者認定者数/第1号被保険者数\*100（各年9月末現在）

○第1号被保険者、第2号被保険者別要支援・要介護認定者数の推移と推計

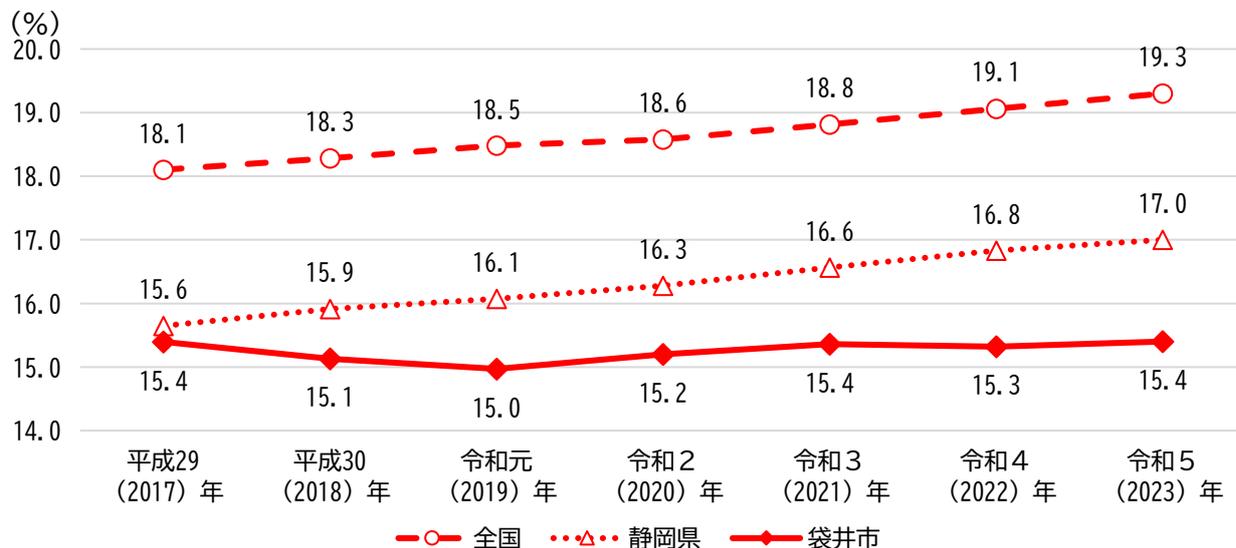
	H29 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R12 年度	R22 年度
認定者数 (人)	3,180	3,399	3,443	3,493	3,562	3,630	3,680	4,174	5,053
第1号被保険者数 (人)	3,085	3,326	3,371	3,419	3,488	3,556	3,606	4,100	4,986
第2号被保険者数 (人)	95	73	72	74	74	74	74	74	67

資料：介護保険事業状況報告（月報）（各年9月 月報）

## 袋井市

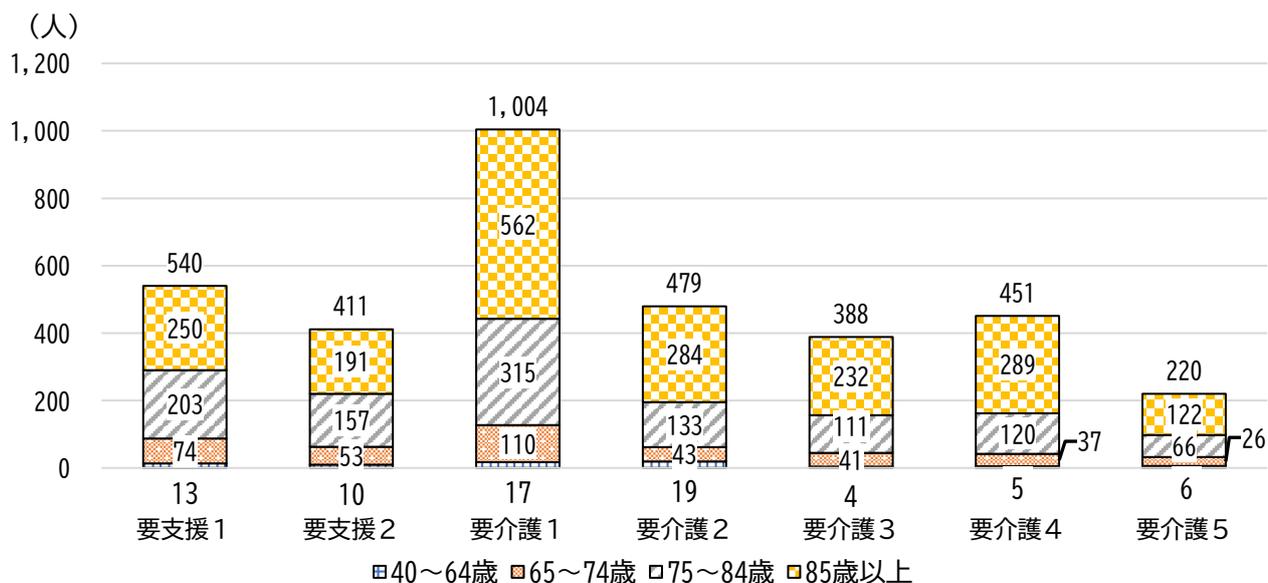
全国・静岡県の認定率が上昇傾向であるのに対して、本市の認定率は横ばいに推移しています。年齢別要支援・要介護認定者数をみると、40歳～64歳以外の年齢階級において、要介護1が最も多くなっています。また、要支援1・2を除いた全ての介護度で85歳以上の占める人数は半数以上となっています。

### ○要支援・要介護認定率の推移比較（全国・県）



資料：袋井市…第1号被保険者認定者数/第1号被保険者数\*100（各年9月末現在）  
 全国・静岡県…介護保険事業状況報告（月報）

### ○年齢別要支援・要介護認定者数（令和5年度）



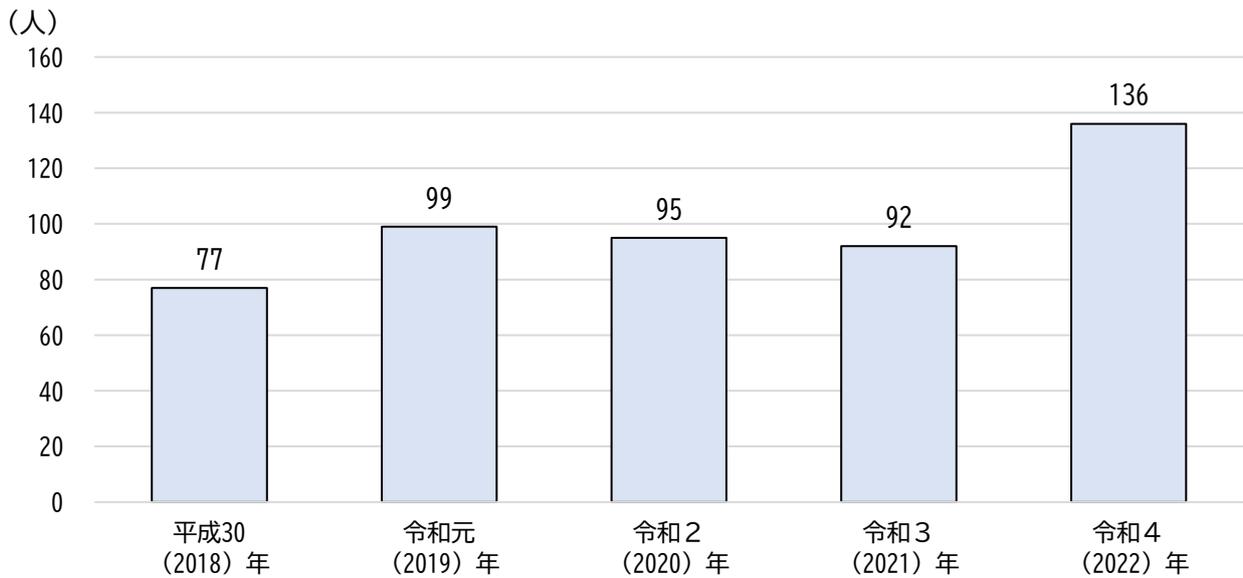
資料：介護保険事業状況報告（月報）（令和5年9月 月報）

## (2) 事業対象者数

平成 29 年度から開始した介護予防・日常生活支援総合事業では、要介護・要支援には該当しないが、総合事業のチェックリストで何らかの支援が必要と判定された方も、事業対象者として訪問型サービスや通所型サービスの利用ができるようになりました。

事業対象者数は、令和 4 年には 136 人と増加しています。

### ○事業対象者数の推移



資料：袋井市 健康長寿課（各年3月末現在）

### 3 介護保険事業と高齢者福祉事業の現状

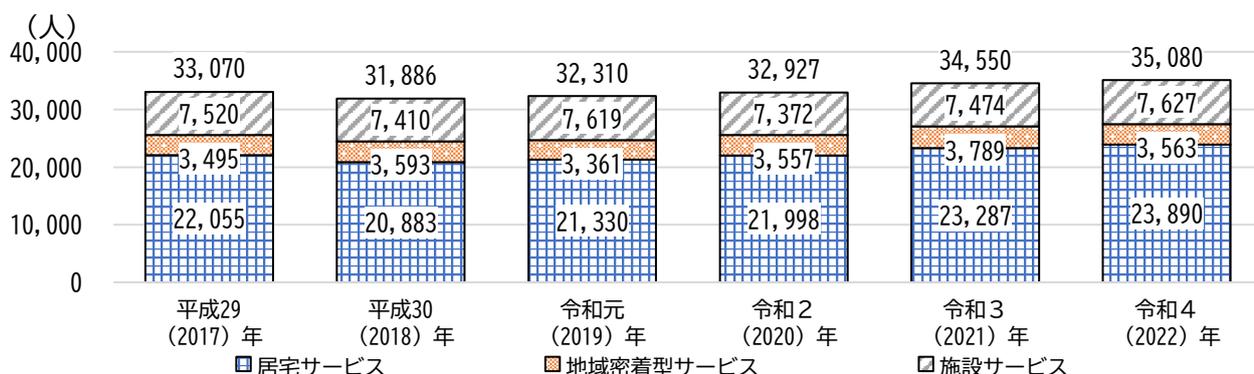
#### (1) サービス分類別推移

サービス分類別受給者数の合計は平成 30 年以降増加していますが、特に居宅サービスは増加傾向にあります。

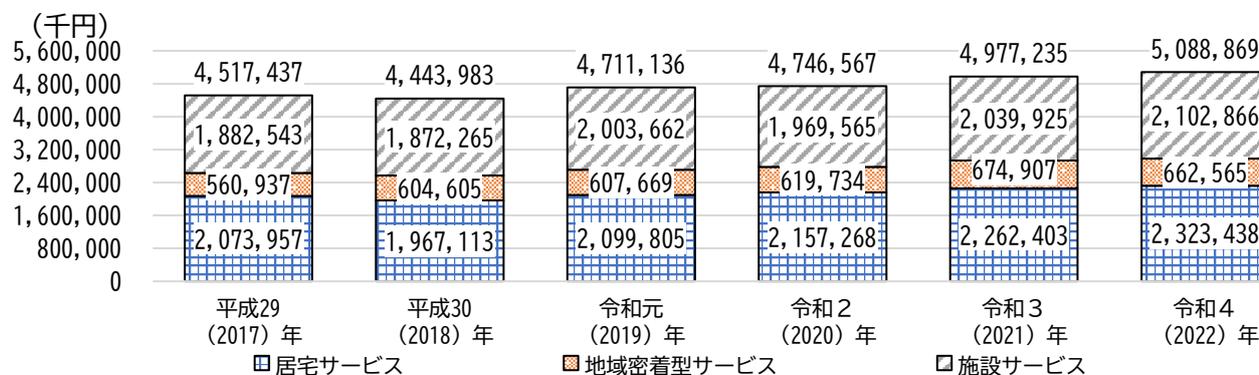
サービス分類別給付費の合計は平成 30 年以降増加しており、居宅サービス及び地域密着型サービスが増加しています。

受給者 1 人当たりの給付費は平成 29 年以降、居宅サービスは横ばいで推移していますが、地域密着型サービス及び施設サービスは増加傾向にあります。

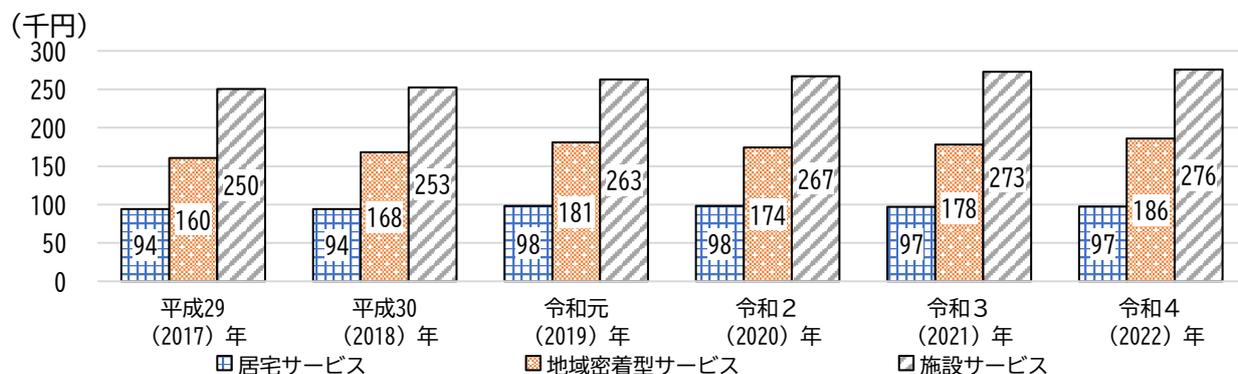
○サービス分類別受給者数



○サービス分類別給付費



○受給者 1 人当たりの給付費



資料：介護保険事業状況報告（年報）  
受給者 1 人当たり給付費…給付費/受給者数

(2) 介護サービスと介護予防サービスの利用状況

① 介護給付

第8期計画期間のうち、令和3年度、令和4年度の2年間にわたり、給付費の計画比が100%を超えている介護サービスでは「訪問リハビリテーション」、「居宅療養管理指導」、「短期入所生活介護」、「福祉用具貸与」、「住宅改修費」、「居宅介護支援」、「介護老人保健施設（老健）」、「介護医療院」となっています。また、令和3年度では「短期入所療養介護」、「特定福祉用具購入費」、「地域密着型通所介護」が、令和4年度では「特定施設入居者生活介護」、「認知症対応型通所介護」が、それぞれ計画値を上回っています。

介護給付費の合計について、令和3年度では計画値に対して97.5%、令和4年度では計画値に対して95.8%となっています。

○介護サービスの実績値・計画値

区分	令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	
<b>1. 居宅サービス</b>							
訪問介護	給付費(千円)	221,566	186,222	84.0%	229,373	194,327	84.7%
	回数(回/年)	73,571	59,921	81.4%	76,164	64,364	84.5%
	人数(人/年)	3,000	2,913	97.1%	3,060	3,037	99.2%
訪問入浴介護	給付費(千円)	19,748	12,864	65.1%	19,935	17,126	85.9%
	回数(回/年)	1,624	1,043	64.2%	1,638	1,380	84.2%
	人数(人/年)	300	208	69.3%	300	280	93.3%
訪問看護	給付費(千円)	91,927	86,306	93.9%	98,561	83,398	84.6%
	回数(回/年)	20,664	19,143	92.6%	21,956	17,968	81.8%
	人数(人/年)	2,400	2,347	97.8%	2,580	2,355	91.3%
訪問リハビリテーション	給付費(千円)	21,873	26,470	121.0%	22,441	27,962	124.6%
	回数(回/年)	7,507	9,090	121.1%	7,702	9,642	125.2%
	人数(人/年)	588	679	115.5%	600	730	121.7%
居宅療養管理指導	給付費(千円)	17,981	23,052	128.2%	18,882	24,228	128.3%
	人数(人/年)	2,208	2,709	122.7%	2,316	3,034	131.0%
	給付費(千円)	1,150,356	1,050,393	91.3%	1,205,957	1,100,163	91.2%
通所介護	回数(回/年)	149,154	135,440	90.8%	156,376	139,398	89.1%
	人数(人/年)	10,884	10,217	93.9%	11,268	10,696	94.9%
	給付費(千円)	128,680	106,958	83.1%	143,517	72,309	50.4%
通所リハビリテーション	回数(回/年)	15,780	12,785	81.0%	17,568	8,891	50.6%
	人数(人/年)	1,716	1,331	77.6%	1,824	1,023	56.1%
	給付費(千円)	119,548	127,327	106.5%	125,388	133,494	106.5%
短期入所生活介護	日数(日/年)	14,880	15,242	102.4%	15,644	15,842	101.3%
	人数(人/年)	1,968	1,961	99.6%	2,076	2,088	100.6%
	給付費(千円)	6,782	9,950	146.7%	6,786	6,370	93.9%
短期入所療養介護	日数(日/年)	628	986	157.0%	628	629	100.2%
	人数(人/年)	96	72	75.0%	96	65	67.7%
	給付費(千円)	122,557	139,005	113.4%	124,515	146,292	117.5%
福祉用具貸与	人数(人/年)	9,912	10,818	109.1%	10,140	10,908	107.6%
	給付費(千円)	5,781	6,957	120.3%	6,130	5,546	90.5%
	人数(人/年)	216	233	107.9%	228	196	86.0%
特定福祉用具購入費	給付費(千円)	8,265	10,361	125.4%	9,168	9,593	104.6%
	人数(人/年)	120	122	101.7%	132	115	87.1%
	給付費(千円)	120,961	111,691	92.3%	126,306	131,296	104.0%
特定施設入居者生活介護	人数(人/年)	660	634	96.1%	696	747	107.3%
	給付費(千円)	215,539	223,597	103.7%	222,691	228,546	102.6%
	人数(人/年)	15,036	15,614	103.8%	15,504	15,849	102.2%

資料：介護保険事業状況報告（年報）

※端数処理の関係で、合計が一致しない場合があります。

袋井市

○介護サービスの実績値・計画値（続き）

区分	令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	
<b>2. 地域密着型サービス</b>							
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	給付費(千円)	0	888	-	0	410	-
	人数(人/年)	0	12	-	0	6	-
夜間対応型訪問介護	給付費(千円)	0	0	-	0	0	-
	人数(人/年)	0	0	-	0	0	-
地域密着型通所介護	給付費(千円)	50,795	58,479	115.1%	52,570	45,744	87.0%
	回数(回/年)	7,525	8,591	114.2%	7,805	6,572	84.2%
	人数(人/年)	960	1,027	107.0%	1,020	825	80.9%
認知症対応型通所介護	給付費(千円)	3,279	148	4.5%	3,281	9,918	302.3%
	回数(回/年)	312	25	8.0%	312	992	317.9%
	人数(人/年)	48	4	8.3%	48	51	106.3%
小規模多機能型居宅介護	給付費(千円)	132,945	124,993	94.0%	139,503	113,012	81.0%
	人数(人/年)	720	703	97.6%	744	632	84.9%
認知症対応型共同生活介護	給付費(千円)	453,331	428,724	94.6%	457,008	435,451	95.3%
	人数(人/年)	1,800	1,684	93.6%	1,812	1,678	92.6%
看護小規模多機能型居宅介護	給付費(千円)	53,057	46,859	88.3%	55,422	40,471	73.0%
	人数(人/年)	252	221	87.7%	276	192	69.6%
<b>3. 施設サービス</b>							
介護老人福祉施設(特養)	給付費(千円)	1,117,117	1,105,610	99.0%	1,159,632	1,111,160	95.8%
	人数(人/年)	4,512	4,332	96.0%	4,680	4,268	91.2%
介護老人保健施設(老健)	給付費(千円)	595,110	638,600	107.3%	627,257	694,747	110.8%
	人数(人/年)	2,220	2,334	105.1%	2,340	2,534	108.3%
介護療養型医療施設	給付費(千円)	21,078	3,985	18.9%	21,090	295	1.4%
	人数(人/年)	60	14	23.3%	60	1	1.7%
介護医療院	給付費(千円)	268,799	291,731	108.5%	268,948	296,664	110.3%
	人数(人/年)	792	806	101.8%	792	839	105.9%
<b>給付費合計</b>	給付費(千円)	4,947,075	4,821,170	97.5%	5,144,361	4,928,520	95.8%

資料：介護保険事業状況報告（年報）

※端数処理の関係で、合計が一致しない場合があります。

② 介護予防給付

第8期計画期間のうち、令和3年度、令和4年度の2年間にわたり、給付費の計画比が100%を超えている介護予防サービスでは「福祉用具貸与」、「住宅改修費」、「介護予防支援」、「認知症対応型共同生活介護」となっています。また、令和4年度では「居宅療養管理指導」が、計画値を上回っています。

介護予防給付費の合計について、令和3年度では計画値に対して99.7%、令和4年度では計画値に対して97.8%となっています。

○介護予防サービスの実績値・計画値

区分	令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	
<b>1. 居宅サービス</b>							
訪問入浴介護	給付費(千円)	0	0	-	0	90	-
	回数(回/年)	0	0	-	0	11	-
	人数(人/年)	0	0	-	0	5	-
訪問看護	給付費(千円)	25,892	21,169	81.8%	27,674	18,431	66.6%
	回数(回/年)	7,512	6,385	85.0%	8,021	5,524	68.9%
	人数(人/年)	852	921	108.1%	900	822	91.3%
訪問リハビリテーション	給付費(千円)	10,049	9,968	99.2%	11,060	9,816	88.8%
	回数(回/年)	3,474	3,590	103.3%	3,818	3,693	96.7%
	人数(人/年)	360	344	95.6%	384	360	93.8%
居宅療養管理指導	給付費(千円)	2,023	1,887	93.3%	2,276	2,307	101.4%
	人数(人/年)	192	229	119.3%	216	295	136.6%
通所リハビリテーション	給付費(千円)	33,630	30,877	91.8%	35,644	35,169	98.7%
	人数(人/年)	1,128	985	87.3%	1,200	1,110	92.5%
短期入所生活介護	給付費(千円)	3,992	3,250	81.4%	4,111	1,403	34.1%
	日数(日/年)	586	565	96.4%	604	199	32.9%
	人数(人/年)	120	81	67.5%	120	59	49.2%
短期入所療養介護	給付費(千円)	0	0	-	0	0	-
	日数(日/年)	0	0	-	0	0	-
	人数(人/年)	0	0	-	0	0	-
福祉用具貸与	給付費(千円)	29,166	32,916	112.9%	29,930	35,324	118.0%
	人数(人/年)	4,548	4,518	99.3%	4,656	4,804	103.2%
特定福祉用具購入費	給付費(千円)	2,856	1,980	69.3%	3,130	2,442	78.0%
	人数(人/年)	120	78	65.0%	132	88	66.7%
住宅改修費	給付費(千円)	6,157	10,196	165.6%	6,157	8,032	130.5%
	人数(人/年)	72	110	152.8%	72	86	119.4%
特定施設入居者生活介護	給付費(千円)	4,976	3,571	71.8%	4,979	2,857	57.4%
	人数(人/年)	72	62	86.1%	72	53	73.6%
介護予防支援	給付費(千円)	25,390	25,434	100.2%	26,566	26,917	101.3%
	人数(人/年)	5,508	5,458	99.1%	5,760	5,737	99.6%
<b>2. 地域密着型サービス</b>							
認知症対応型通所介護	給付費(千円)	954	0	0.0%	955	533	55.8%
	回数(回/年)	120	0	0.0%	120	113	94.2%
	人数(人/年)	24	0	0.0%	24	29	120.8%
小規模多機能型居宅介護	給付費(千円)	8,733	8,526	97.6%	8,738	7,098	81.2%
	人数(人/年)	120	139	115.8%	120	115	95.8%
認知症対応型共同生活介護	給付費(千円)	2,697	6,290	233.2%	2,699	9,929	367.9%
	人数(人/年)	12	26	216.7%	12	41	341.7%
<b>予防給付費合計</b>	給付費(千円)	156,515	156,064	99.7%	163,919	160,350	97.8%

資料：介護保険事業状況報告（年報）

※端数処理の関係で、合計が一致しない場合があります。

### (3) 総合事業の利用状況

総合事業の利用状況をみると、訪問介護相当サービス・通所介護相当サービスいずれも執行率が高くなっています。

#### ○総合事業の実績値・計画値

区分		令和3(2021)年度			令和4(2022)年度		
		計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比
訪問介護相当サービス	人数(人)	165	159	96.4%	165	165	100.0%
訪問型サービスA	人数(人)	5	0	0.0%	10	0	0.0%
訪問型サービスB	箇所(年)	1	1	100.0%	2	1	50.0%
訪問型サービスC	人数(人)	7	6	85.7%	8	6	75.0%
通所介護相当サービス	人数(人)	535	499	93.3%	535	543	101.5%
通所型サービスA	人数(人)	45	25	55.6%	60	29	48.3%
通所型サービスB	箇所(年)	1	0	0.0%	1	0	0.0%
通所型サービスC	人数(人)	5	5	100.0%	6	8	133.3%
介護予防ケアマネジメント	件数(件)	3,200	3,142	98.2%	3,200	2,757	86.2%

資料：袋井市 健康長寿課

※端数処理の関係で、同数でも計画比の値が100.0%にならない場合があります。

(4) 高齢者保健福祉事業の利用状況

高齢者保健福祉事業の利用状況をみると、「地域リハビリテーション活動支援事業」の出張指導回数及び参加実人数、「総合相談窓口の充実」の相談対応延件数、「はいかいSOSネットワーク事業」の新規登録者数、「多職種・多機関の連携推進コーディネーター相談支援件数」が令和3年度、令和4年度の2年間にわたり執行率が高くなっています。

○高齢者保健福祉事業の実績値・計画値

区分	令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	
望ましい食習慣の定着	地域での健康食の普及活動回数(回)	110	118	107.3%	120	100	83.3%
	地域での健康食の普及活動参加延人数(人)	1,200	899	74.9%	1,350	1,276	94.5%
心の健康づくりの推進	ゲートキーパー養成延人数(人)	500	504	100.8%	530	520	98.1%
保健事業と介護予防の一体的取組	後期高齢者保健指導延人数(人)	325	551	169.5%	340	294	86.5%
「通いの場(介護予防体操)」づくり	箇所数(箇所)	75	67	89.3%	80	72	90.0%
介護予防出前講座	実施回数(回)	130	103	79.2%	130	119	91.5%
	参加延人数(人)	2,500	1,456	58.2%	2,500	1,666	66.6%
楽笑教室(認知症・閉じこもり・フレイル予防事業)	実施回数(回/年)	294	294	100.0%	294	294	100.0%
	参加延人数(人)	4,600	4,119	89.5%	4,700	3,874	82.4%
自立支援型地域ケア会議	実施回数(回)	4	2	50.0%	5	2	40.0%
	検討件数(件)	8	4	50.0%	10	4	40.0%
地域リハビリテーション活動支援事業	出張指導回数(回)	35	37	105.7%	40	64	160.0%
	参加実人数(人)	525	593	113.0%	600	846	141.0%
総合相談窓口の充実	相談対応延件数(件)	5,200	5,689	109.4%	5,300	6,044	114.0%
地域ケア会議の推進	個別ケース検討件数(件)	16	14	87.5%	18	24	133.3%
地域の支え合い活動の推進	地域住民が主体となった生活支援組織数(箇所)	4	3	75.0%	5	3	60.0%
居場所づくり	箇所数(箇所)	24	23	95.8%	24	27	112.5%
見守りネットワーク	実施箇所数(自治会数)	76	69	90.8%	83	87	104.8%
ふれあい・いきいきサロン活動の推進支援	設置自治会数(箇所)	105	95	90.5%	107	93	86.9%
	ボランティア登録者数(人)	250	136	54.4%	270	135	50.0%
介護支援ボランティア事業	ポイント転換活動数(回)	1,252	1,125	89.9%	3,250	1,215	37.4%
	老人福祉センター	利用人数(人)	13,000	12,929	99.5%	14,000	14,000

次頁に続く

袋井市

区分	令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			
	計画値	実績値	計画比	計画値	実績値	計画比	
ひとり暮らし高齢者訪問事業	訪問人数(人)	635	543	85.5%	665	613	92.2%
	訪問件数(件)	700	666	95.1%	730	763	104.5%
高齢者等配食サービス	利用人数(人)	145	167	115.2%	150	168	112.0%
高齢者等紙おむつ支給事業	支給実人数(人)	230	244	106.1%	230	240	104.3%
	支給延人数(人)	1,000	1,086	108.6%	1,000	900	90.0%
在宅介護支援金支給事業	支給人数(人)	255	231	90.6%	260	241	92.7%
高齢者訪問理美容サービス	利用人数(人)	5	6	120.0%	5	12	240.0%
はり・灸・マッサージ施術費助成	実利用人数(人)	300	351	117.0%	300	358	119.3%
	延利用人数(人)	1,300	1,363	104.8%	1,300	1,385	106.5%
通院・外出支援(付き添い)サービス	ファミサポ一般車両利用人数(人)	1,700	1,109	65.2%	1,700	1,259	74.1%
高齢者緊急通報システム機器貸与	設置数(台)	220	182	82.7%	230	170	73.9%
認知症サポーター養成講座	実施回数(回)	50	19	38.0%	50	13	26.0%
	実施人数(人)	1,000	366	36.6%	1,000	505	50.5%
認知症キャラバン・メイトの育成	登録者数(人)	102	105	102.9%	104	108	103.8%
認知症予防教室	セミナー実施回数(回)	14	13	92.9%	14	14	100.0%
	参加延人数(人)	140	134	95.7%	210	245	116.7%
認知症初期集中支援チーム	チーム員会議実施回数(回)	12	9	75.0%	12	9	75.0%
	支援人数(人)	12	8	66.7%	12	7	58.3%
はいかいSOSネットワーク事業	新規登録者数(人)	20	41	205.0%	20	29	145.0%
	協力事業所の登録数(箇所)	145	143	98.6%	150	144	96.0%
多職種・多機関の連携推進	「シズケア*かけはし」登録事業所数(箇所)	19	24	126.3%	22	25	113.6%
	コーディネーター相談支援件数(件)	175	210	120.0%	185	736	397.8%
	医療・介護関係者研修参加延人数(人)	180	94	52.2%	190	70	36.8%
	市民公開講座等参加延人数(人)	120	0	0.0%	140	92	65.7%

資料：袋井市 健康長寿課

## (5) 保険料基準額及び標準給付費等の推移

高齢化が進み、要介護（要支援）認定者の増加やサービス利用回数の増加する中、介護保険保険給付支払準備基金を活用することで、第7期（平成30年度）から保険料基準額は据え置きとなっています。

## ○第1期からの保険料基準額及び標準給付費等の推移

期	期間（年度）	保険料基準額（月額）	標準給付費等
第1期	平成12年度	(旧) 袋井市 2,700円	1,595,992,928円
	平成13年度		1,989,741,778円
	平成14年度	(旧) 浅羽町 2,630円	2,326,385,329円
	合計		5,912,120,035円
第2期	平成15年度	(旧) 袋井市 2,830円	2,645,035,731円
	平成16年度		2,784,585,035円
	平成17年度	(旧) 浅羽町 2,830円	3,413,835,603円
	合計		8,843,456,369円
第3期	平成18年度	3,700円	3,418,575,509円
	平成19年度		3,652,225,572円
	平成20年度		3,750,387,346円
	合計		10,821,188,427円
第4期	平成21年度	4,400円	3,907,632,822円
	平成22年度		4,105,972,950円
	平成23年度		4,292,169,175円
	合計		12,305,774,947円
第5期	平成24年度	4,600円	4,568,143,177円
	平成25年度		4,734,245,425円
	平成26年度		4,886,101,874円
	合計		14,188,490,476円
第6期	平成27年度	5,200円	4,919,637,477円
	平成28年度		4,915,119,624円
	平成29年度		4,963,597,758円
	合計		14,798,354,859円
第7期	平成30年度	5,100円	4,969,270,581円
	令和元年度		5,264,000,252円
	令和2年度		5,316,635,526円
	合計		15,549,906,359円
第8期	令和3年度	5,100円	5,537,303,403円
	令和4年度		5,650,309,783円
	合計		11,187,613,186円

※平成12年度～平成16年度の標準給付費等については、(旧)袋井市・(旧)浅羽町の合計です。

※標準給付費等：平成18年度からは標準給付費に地域支援事業費を加えた金額です。

## 4 日常生活圏域の設定

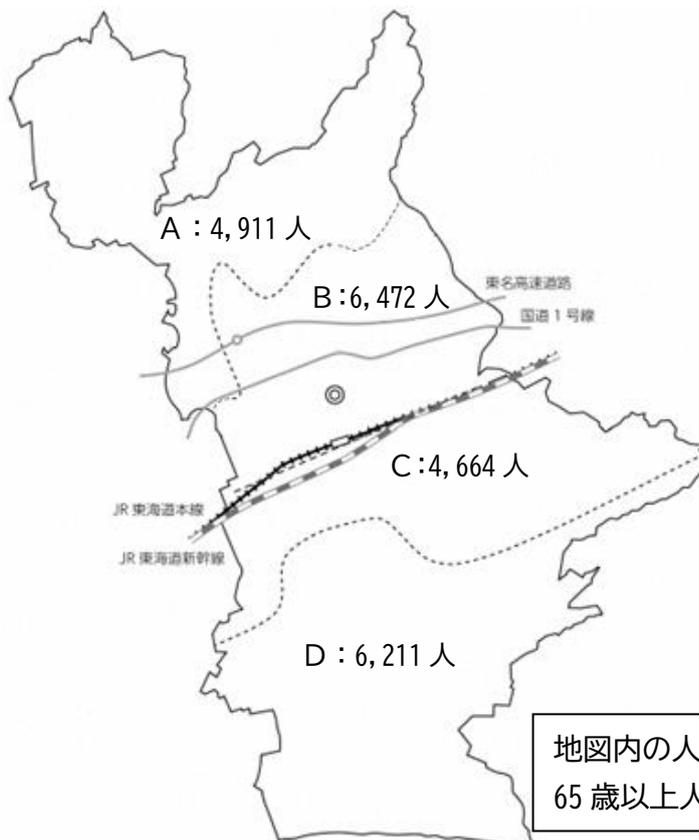
「日常生活圏域」とは、高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活を継続できるように、地理・人口・交通事情その他の社会的条件、介護サービスを提供するための施設の整備状況などを勘案し、地域の特性に応じて市内を区分したものです。

本市では、中学校区を基本単位とし、地域包括支援センターが担当する4つの地域を「日常生活圏域」としています。

令和6年度より袋井東二地区を「袋井北部地域」から、袋井東一地区と同じ「袋井中部地域」に変更し、地域での高齢者の生活支援体制整備や地域支え合い活動の一層の推進を図ります。

### ○袋井市の日常生活圏域

	担当地区	地域包括支援センター	設置場所
A	今井・三川・上山梨・下山梨・宇刈	袋井北部地域包括支援センター	袋井市宇刈 850-1 特別養護老人ホーム明和苑内
B	袋井・川井・袋井西・方丈・袋井北・袋井北四町・袋井東一・袋井東二	袋井中部地域包括支援センター	袋井市久能 2891 可睡門前デイサービスセンター内
C	駅前・高尾・高南・豊沢・愛野・田原	袋井南部地域包括支援センター	袋井市高尾 783-4 袋井南コミュニティセンター南側
D	笠原・浅羽北・浅羽西・浅羽東・浅羽南	浅羽地域包括支援センター	袋井市浅羽 4140 浅羽デイサービスセンター内



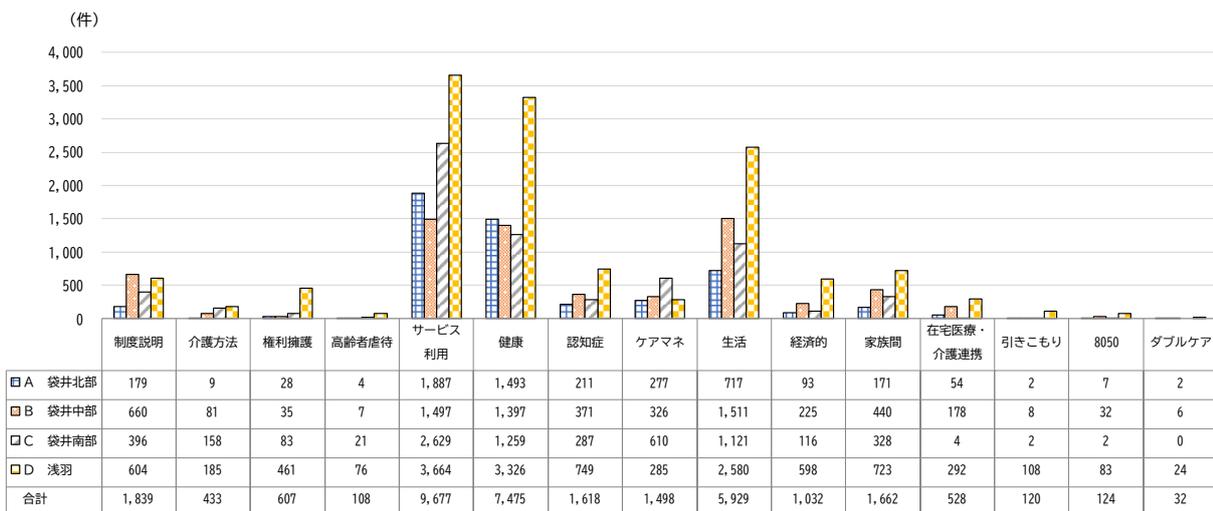
○日常生活圏域の介護サービス施設設置状況（令和6年1月末現在）

単位：箇所

サービス名	A 袋井北部地域	B 袋井中部地域	C 袋井南部地域	D 浅羽地域
訪問介護	3(2)	5(5)	2(2)	2(1)
訪問入浴介護	0	0	0	0
訪問看護	0	3	1	0
訪問リハビリテーション	0	2	1	0
通所介護	6(6)	9(8)	5(5)	5(4)
通所リハビリテーション	1	1	1	0
短期入所生活介護	2	1	1	2
短期入所療養介護	0	0	0	0
特定福祉用具販売・福祉用具貸与	0	4	1	0
特定施設入居者生活介護	1	0	1	0
地域密着型通所介護	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)
認知症対応型通所介護	0	1	0	0
小規模多機能型居宅介護	0	0	1	1
看護小規模多機能型居宅介護	0	1	0	0
認知症対応型共同生活介護	1	3	0	3
介護老人福祉施設（特養）	2	1	1	2
介護老人保健施設	1	0	1	0
介護医療院	1	0	0	0
居宅予防支援	4	7	2	4
介護予防支援	1	1	1	1

※（ ）内は総合事業の事業所数です。

○地域包括支援センターの相談件数（令和4年度）



※相談内容は重複しています。

○地域包括支援センターの実績（令和4年度）

サービス名	A 袋井北部地域	B 袋井中部地域	C 袋井南部地域	D 浅羽地域
要支援者・事業対象者ケアプラン作成件数（件）	958	840	973	1,500

## 5 高齢者の生活と意識に関する調査結果

### (1) 調査の目的

本計画の策定にあたり、施策の方向やその目標を定める基礎資料として活用するため、高齢者の生活や介護の実態に関する調査を実施しました。

### (2) 調査の概要

	介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
調査地域	袋井市全域	
対象	・袋井市在住の事業対象者、要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者 ・袋井市在住の要支援認定者及び事業対象者※	・市内在住で在宅生活の要介護認定者
配布数	2,800件	800件
調査方法	郵送による配布・回収	
調査期間	令和4年12月9日から令和4年12月26日まで	
回収数	1,808件	455件
回収率	64.6%	56.9%

※事業対象者とは…要介護・要支援には該当しないが、総合事業のチェックリストで何らかの支援が必要と判定された方です。

### (3) 調査結果の表示方法

○回答は各設問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

○複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

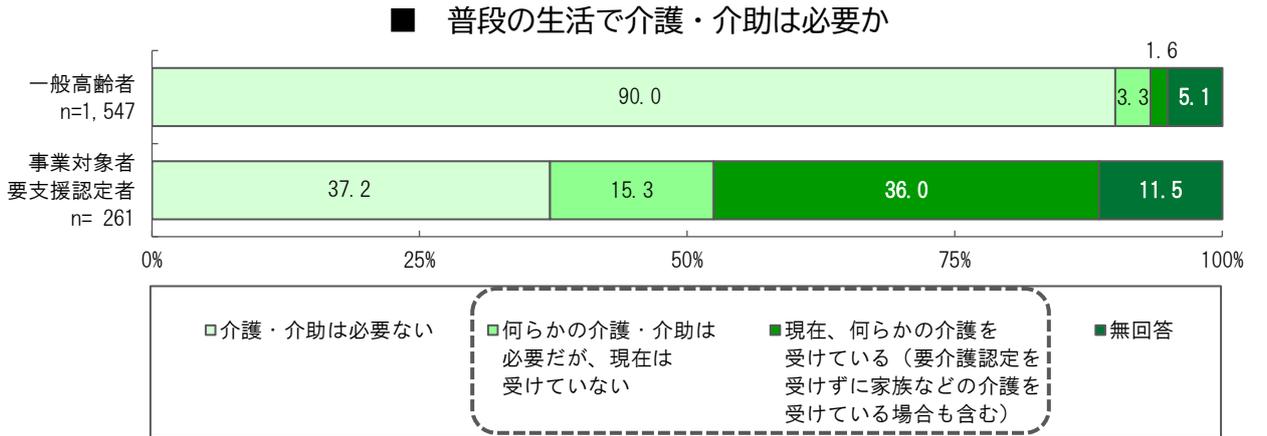
(4) 調査結果

① 日常生活における介護（介助）について

○介護(介助)を必要とする方は、事業対象者・要支援認定者の51.3%であるが、そのうち15.3%が現在は受けていないと回答。

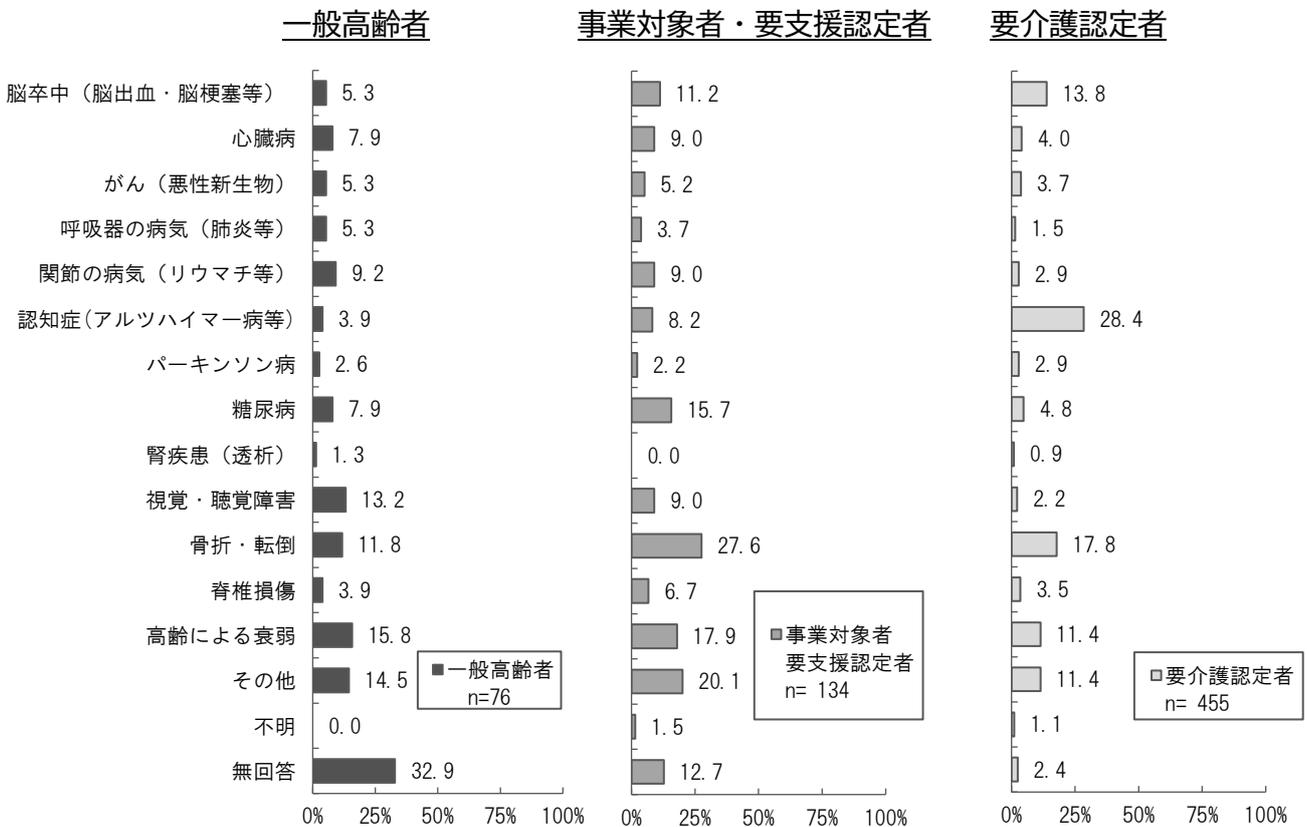
○一般高齢者の中で介護(介助)を必要とする方は4.9%あるが、そのうち3.3%が現在は受けていないと回答。

○介護(介助)が必要になった主な原因は、高齢による衰弱(フレイル)、骨折・転倒、糖尿病、脳卒中、認知症、視覚・聴覚障害となり、10%を超えている。



※一般高齢者、事業対象者・要支援認定者

■ 介護・介助が必要になった主な原因



資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

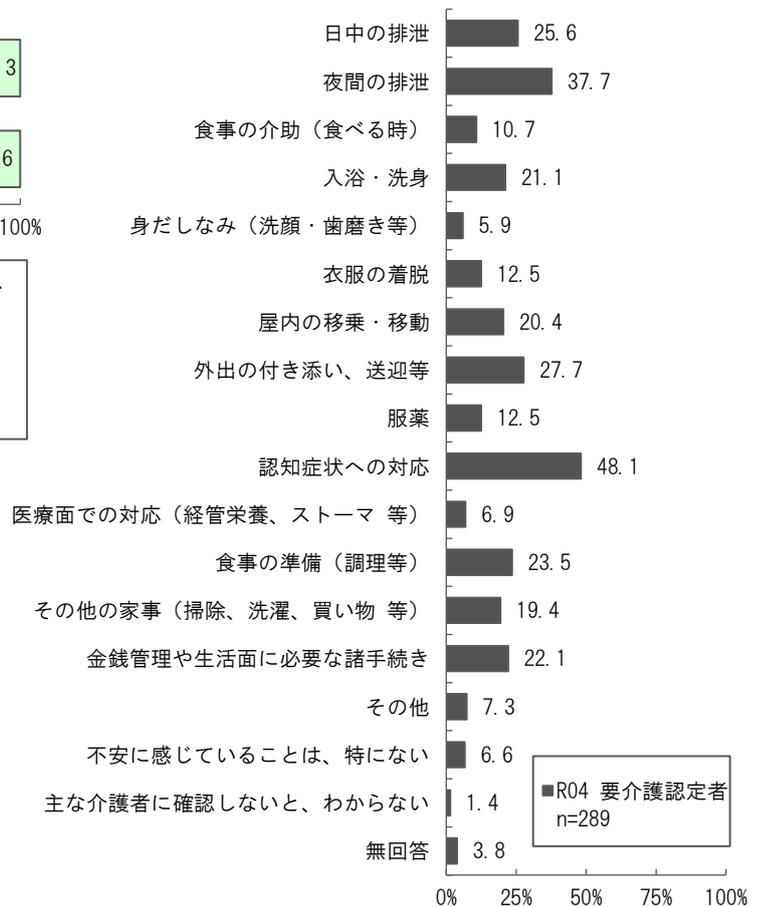
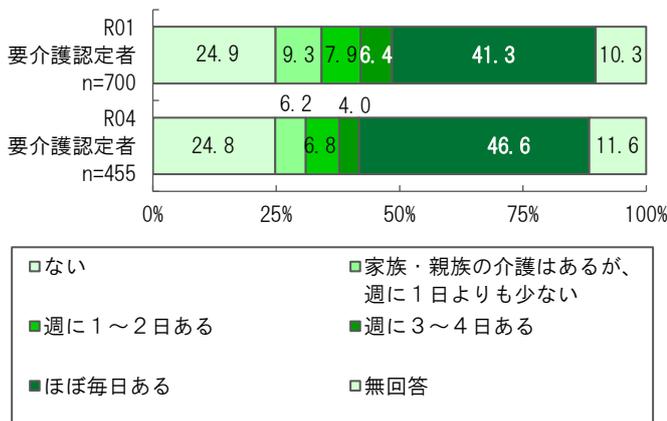
袋井市

○家族や親族からの介護を受けている方は63.6%の状況であり、前回調査(64.9%)より減少しているが、「ほぼ毎日ある」は5.3ポイント増加している。

○主な介護者が不安を感じる介護等は、認知症状への対応、夜間の排泄が高くなっている。

■ 家族や親族からの介護の頻度

■ 主な介護者の方が不安を感じる介護等

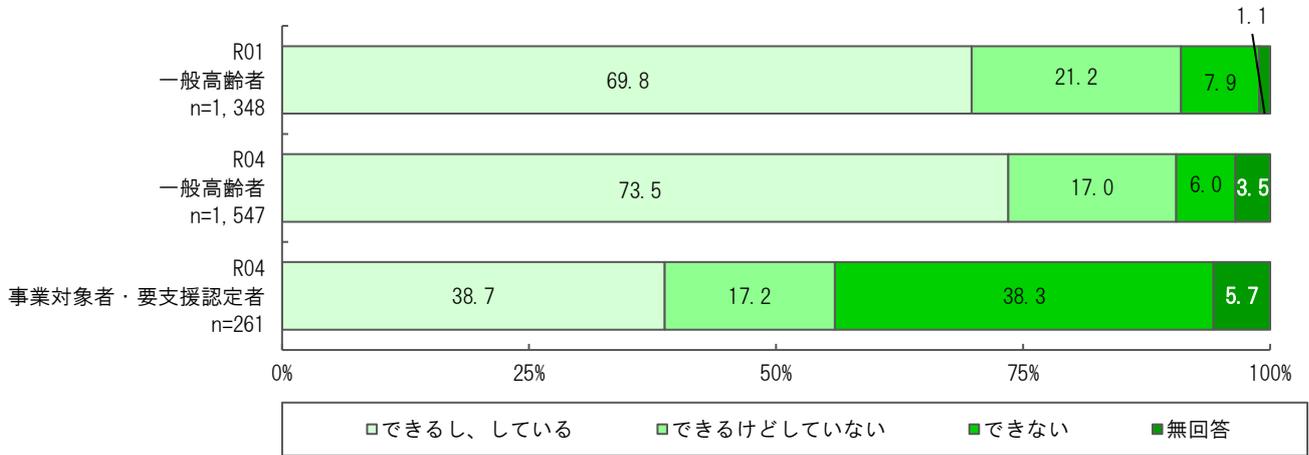


資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

② からだを動かすことについて

○15分位続けて歩いている方は、一般高齢者では73.5%（前回69.8%）と前回調査より増加している。事業対象者・要支援認定者では38.7%が歩いていると回答している。

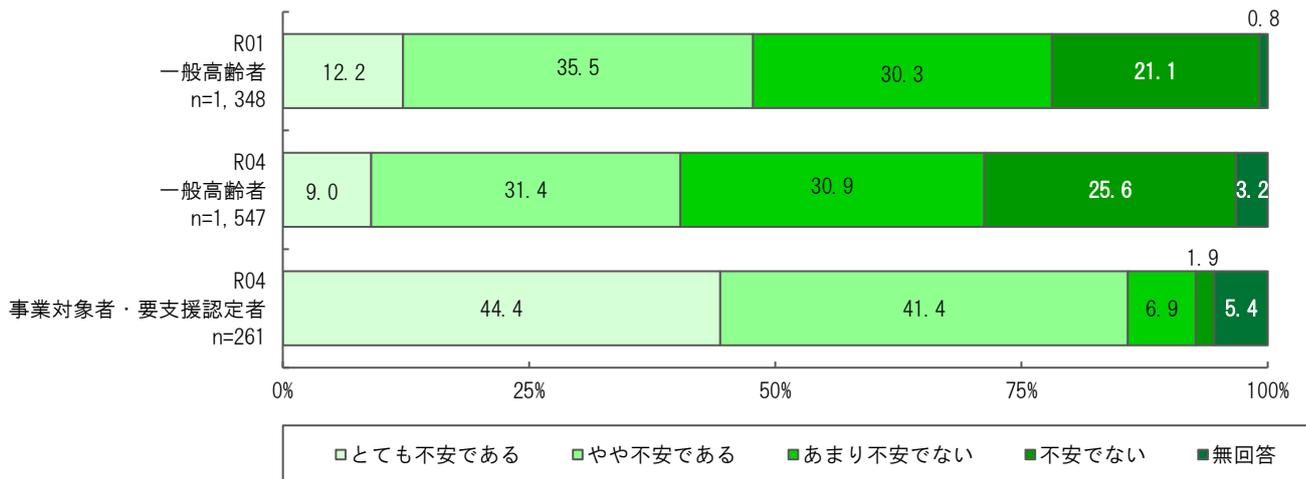
■ 15分位続けて歩いているか（経年比較）



資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

○転倒に対する不安がある方は、一般高齢者では40.4%（前回47.7%）と前回調査より減少している。事業対象者・要支援認定者では85.8%が不安を感じている。

■ 転倒に対する不安は大きい（経年比較）



資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

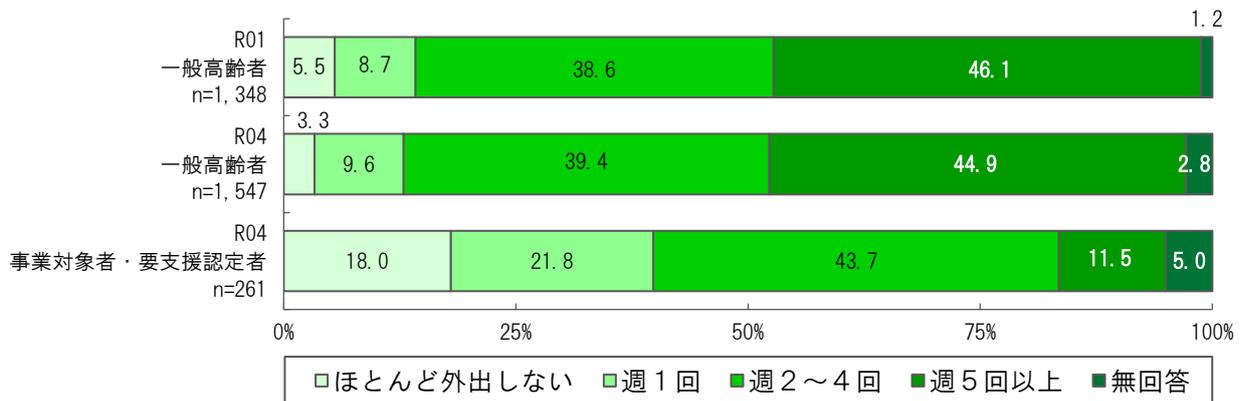
袋井市

○週1回以上外出している方は12.9%で、一般高齢者では前回調査(14.2%)より若干減少している。

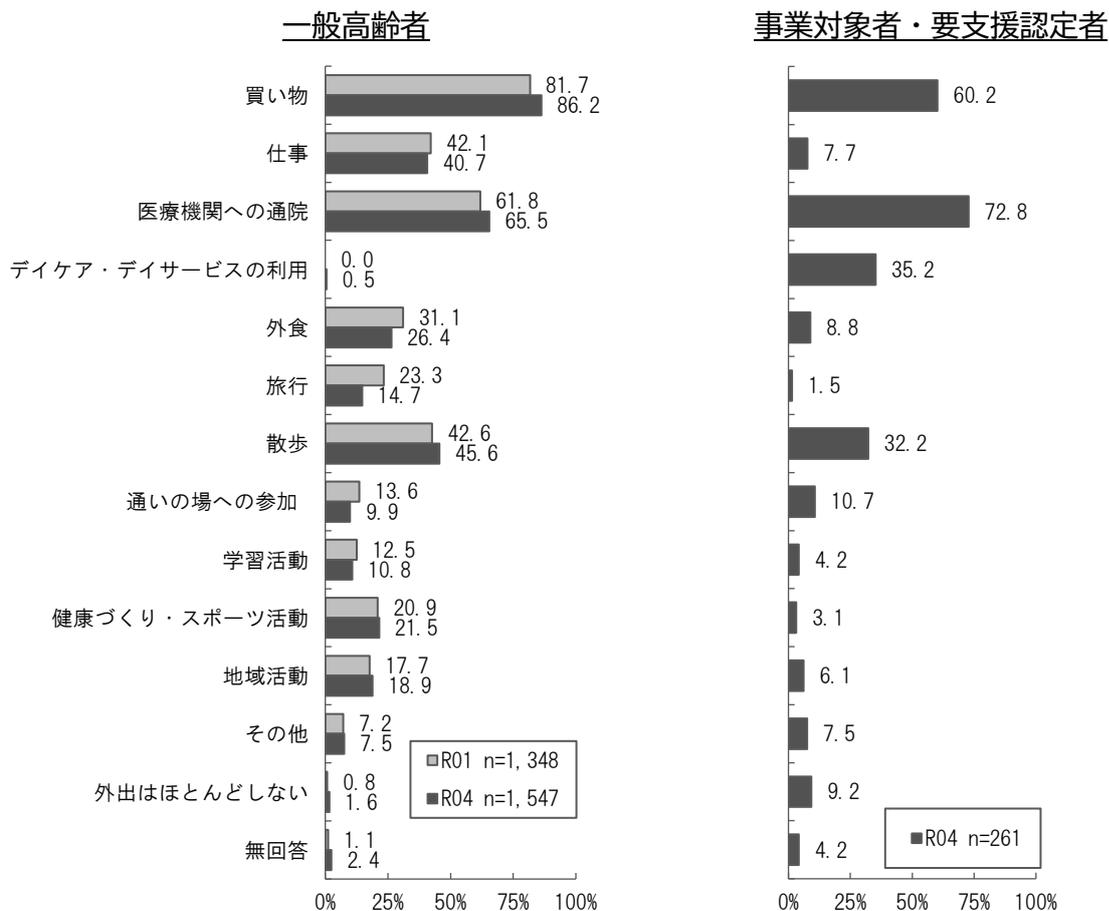
○外出の理由は、買い物、通院が一般高齢者、事業対象者・要支援認定者共に多い。事業対象者・要支援認定者では、デイケア・デイサービスの利用や散歩も多い。

○外出を控えている理由は足腰の痛みや感染対策となっている。

■ 週に1回以上外出しているか(経年比較)

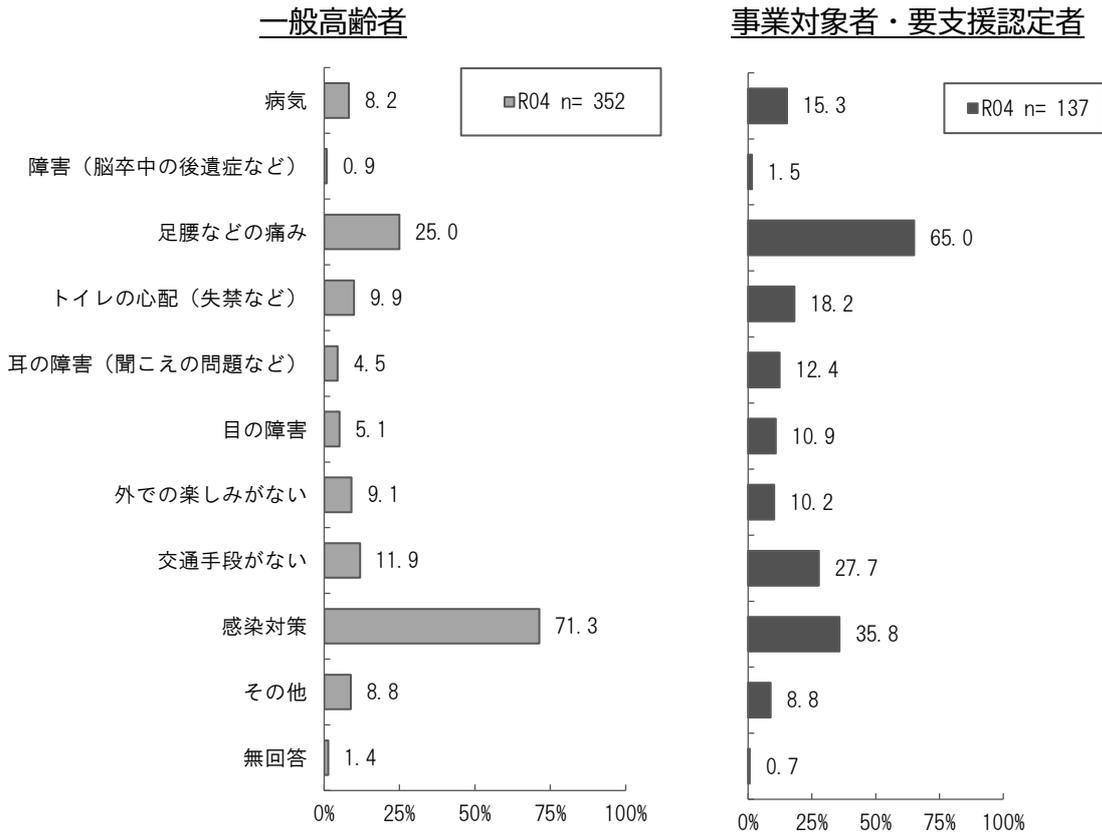


■ 外出理由(経年比較)



※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない  
資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

■ 外出を控えている理由（経年比較）

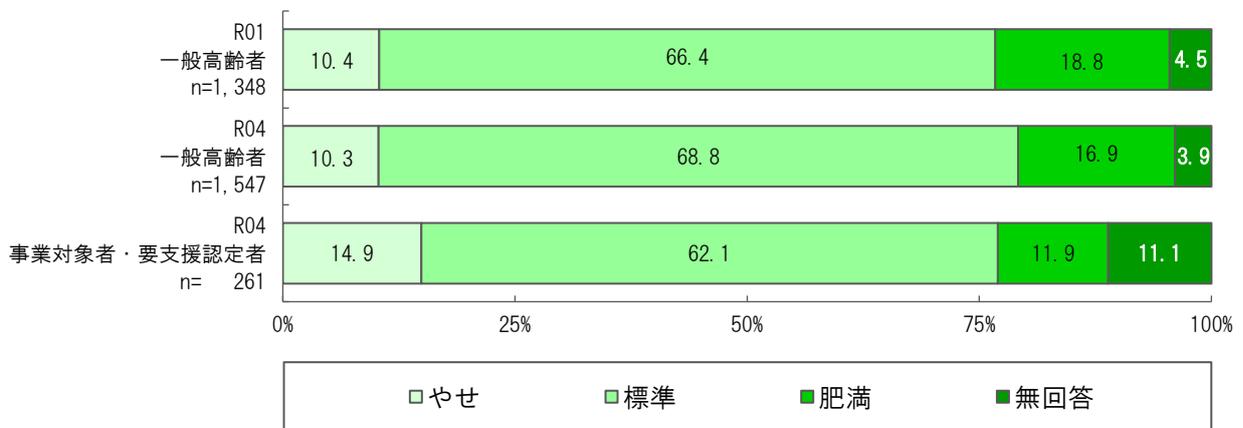


資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

③ 食べることについて

○BMI でやせに該当する方は一般高齢者で 10.3%となり、前回調査（10.4%）より微減。  
事業対象者・要支援認定者は 14.9%である。肥満についても前回調査（18.8%）より減少。

■ BMI（経年比較）

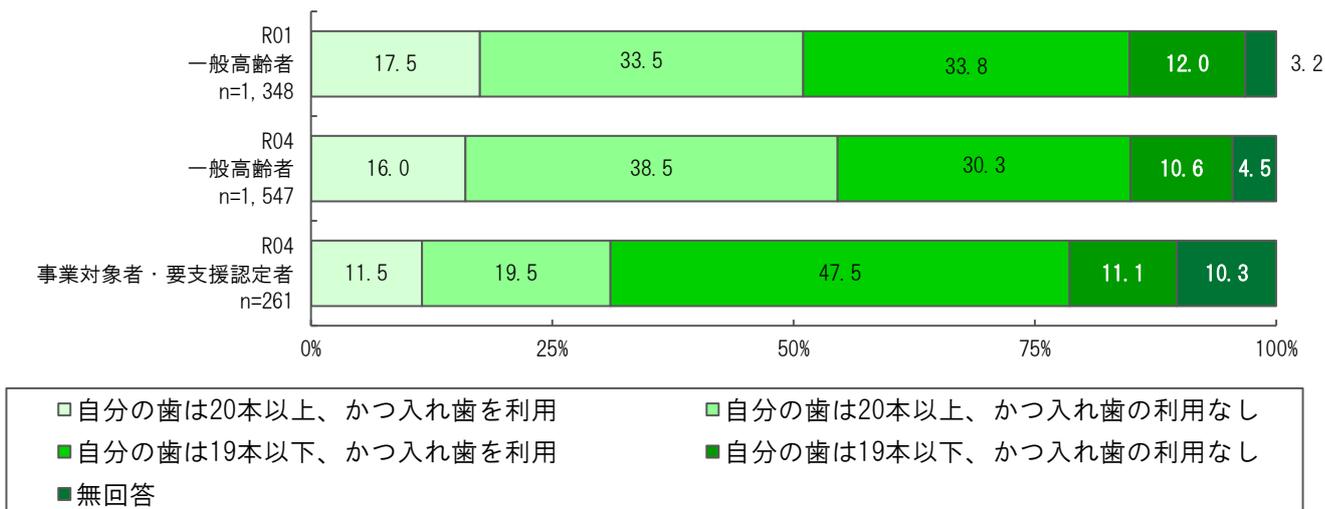


※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない  
資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

袋井市

- 一般高齢者では、「自分の歯は20本以上、入れ歯なし」が38.5%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、入れ歯利用」が30.3%、「自分の歯は20本以上、入れ歯利用」が16.0%、「自分の歯は19本以下、入れ歯なし」が10.6%となっている。
- 事業対象者・要支援認定者では、「自分の歯は19本以下、入れ歯利用」が47.5%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯なし」が19.5%、「自分の歯は20本以上、入れ歯利用」が11.5%、「自分の歯は19本以下、入れ歯なし」が11.1%となっている。
- 前回調査と比較すると、一般高齢者では「自分の歯は20本以上、入れ歯なし」が増加している。

■ 歯の数と入れ歯の利用状況（経年比較）

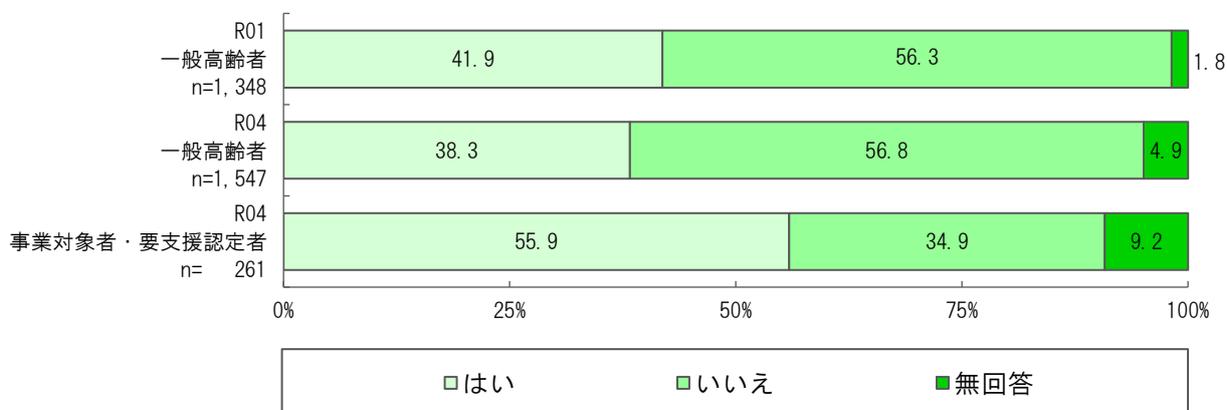


資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

④ 毎日の生活について

- 物忘れが多いと感じる方は、一般高齢者で38.3%となり、前回調査（41.9%）より減少。事業対象者・要支援認定者は55.9%である。

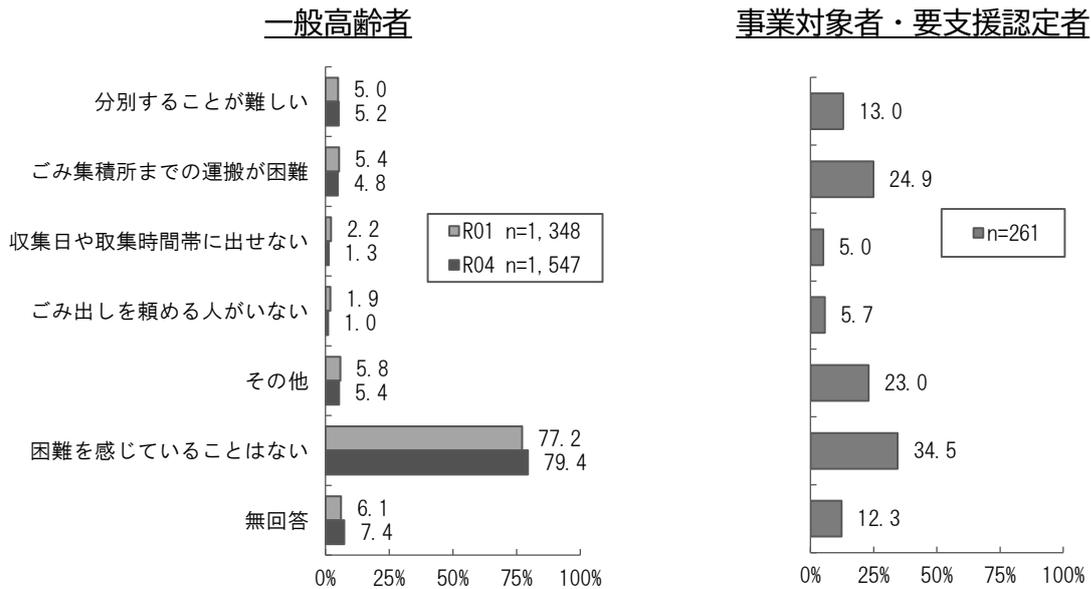
■ 物忘れが多いと感じるか（経年比較）



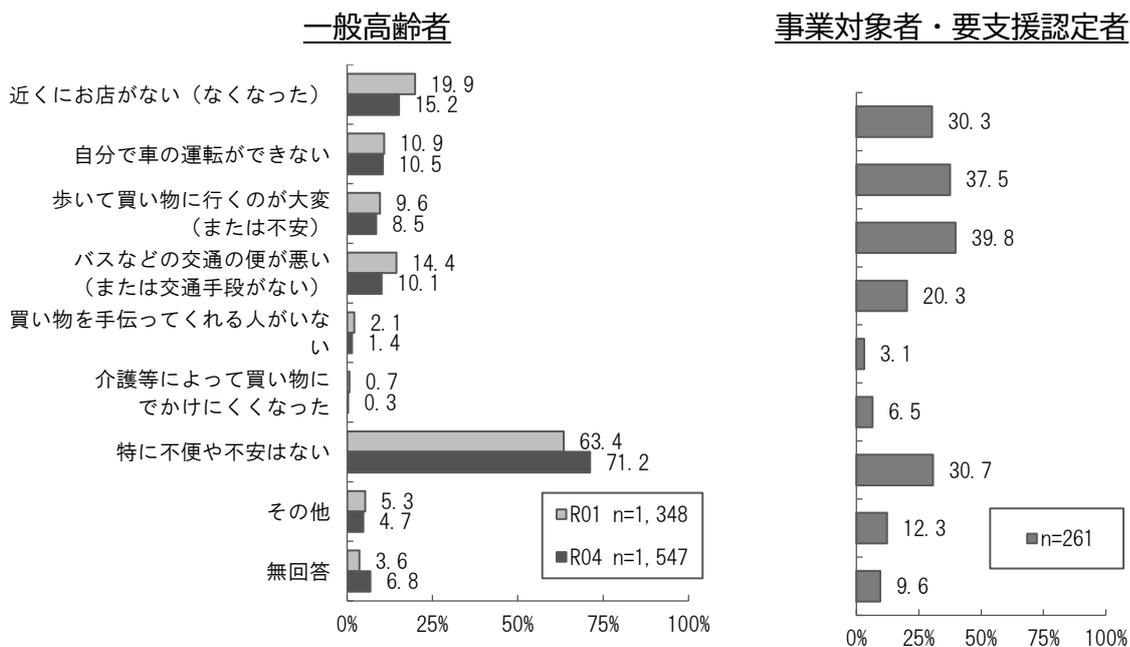
※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない  
資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

- ごみ出しの際に、事業対象者・要支援認定者ではごみの分別やごみ集積所までの運搬で困難に感じている方が多い。一般高齢者は困難に感じていることはないが最も多く、前回調査(77.2%)よりも微増している。
- 買い物で不安を感じていることは、事業対象者・要支援認定者では近くにお店がない、買い物に行く足がないといった意見が多い。一般高齢者では特に不便や不安はないが最も多く、前調査(63.4%)よりも増加している。

■ ごみ出しで困難を感じていること（経年比較）



■ 食料品や日用品の買い物で不安を感じていること（経年比較）



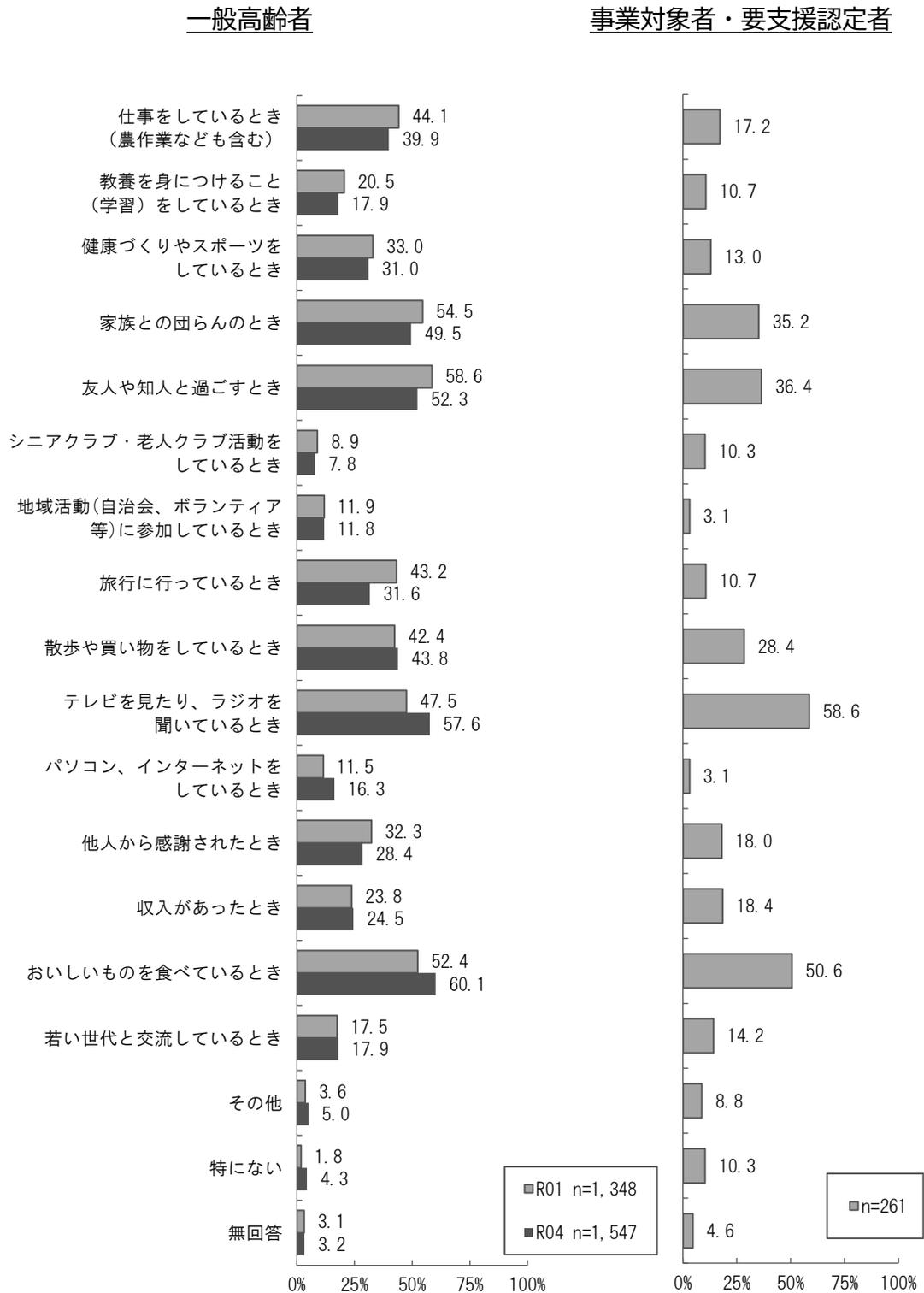
※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない

資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

袋井市

○家族や友人と過ごすときや、おいしいものを食べているときや散歩や買い物、テレビを見たりラジオを聞いているときに生きがいを感じる方が多い。一般高齢者では仕事をしているときも多い。

■ 生きがい（喜び楽しみ）を感じるのはどのようなときか（経年比較）

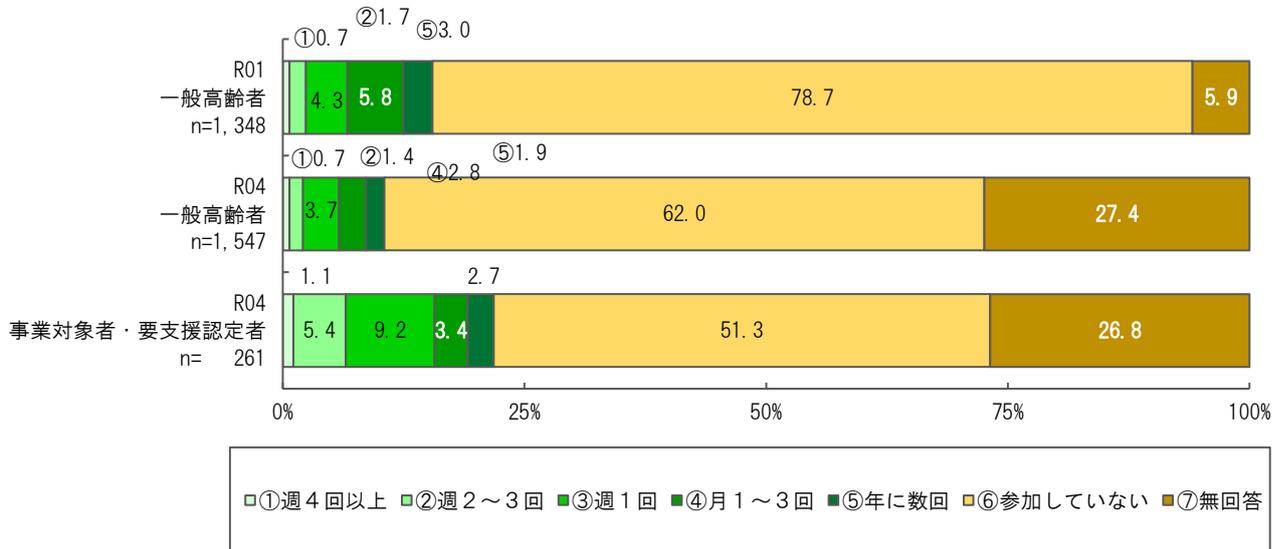


資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

⑤ 地域での活動について

- 一般高齢者では、「参加していない」が62.0%と最も高くなっている。
- 事業対象者・要支援認定者では、「参加していない」が51.3%と最も高くなっている。
- 前回調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が減少している。

■ 介護予防のための通いの場（サロン・居場所・しぞ〜かでん伝体操など）（経年比較）

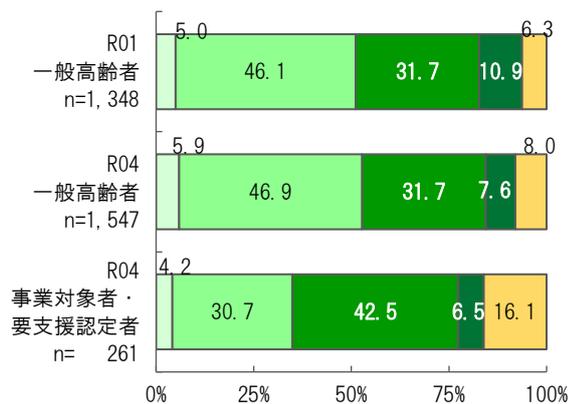


資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

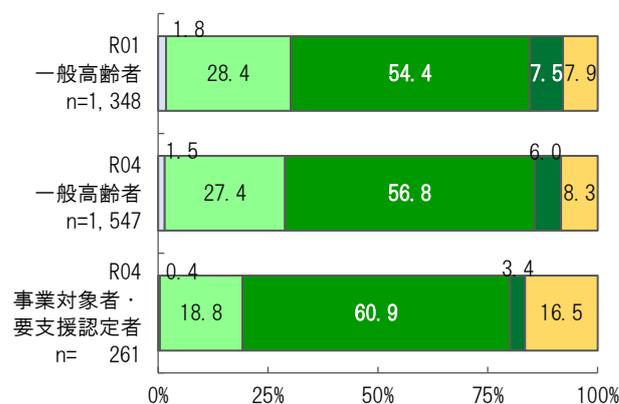
袋井市

- 地域活動に参加者として参加意向のある方と既に参加している方は、一般高齢者では 60.4% (前回 62.0%)、事業対象者・要支援認定者では 41.4%である。
- 地域活動に企画・運営として参加意向のある方と既に参加している方は、一般高齢者 34.9% (前回 37.7%)、事業対象者・要支援認定者では 22.6%である。
- 参加意向のある方と既に参加している方が参加したい活動は、趣味の活動と運動が多い。また、2割程度の方が、地域内の支え合い活動への参加意欲を持っている。また、一般高齢者では、ボランティアが前回調査 (12.8%) より増加している。

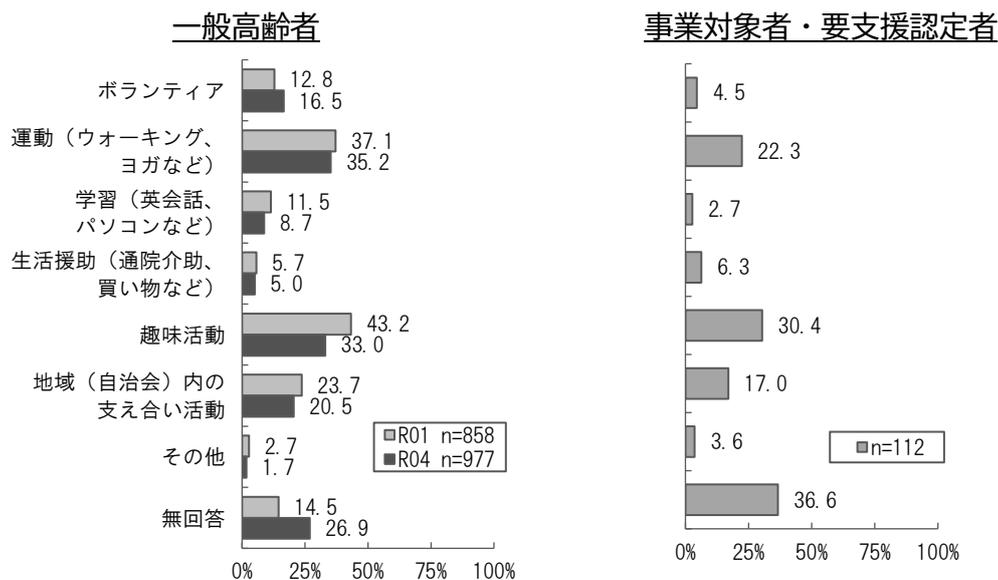
■ 参加者としてグループ活動等に参加してみたいか



■ 企画・運営としてグループに参加活動等に参加してみたいか



■ どのような活動に参加したいか  
(地域活動に参加意向・既に参加していると回答した方のみ)



※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない  
資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

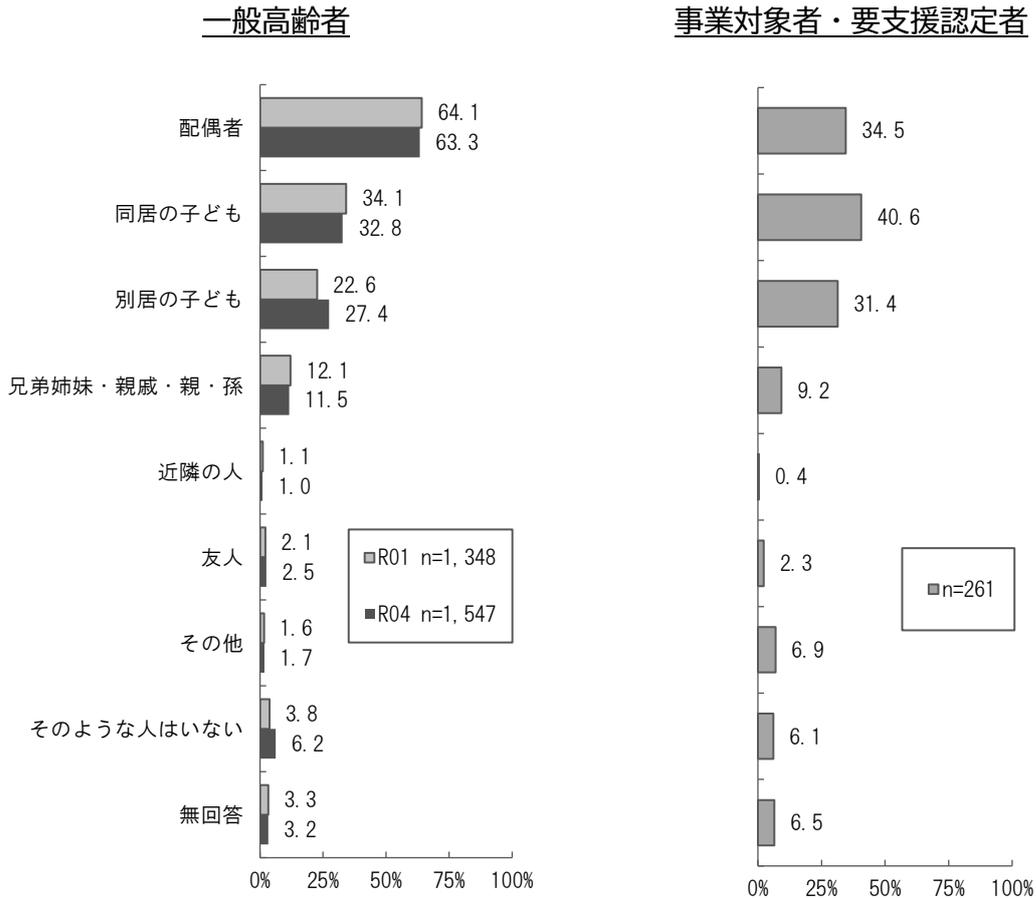
⑥ 看病や世話をしてくれる人について

○病気で寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は家族が多い。

一方で、そのような人はいないが6.2%となり、前回調査(3.8%)よりも増加している。

○健康状態は一般高齢者はよい(とてもよい+よい)が82.7%となっており、前回調査(81.5%)よりも微増している。事業対象者・要支援認定者ではよくない(あまりよくない+よくない)が47.2%となっている

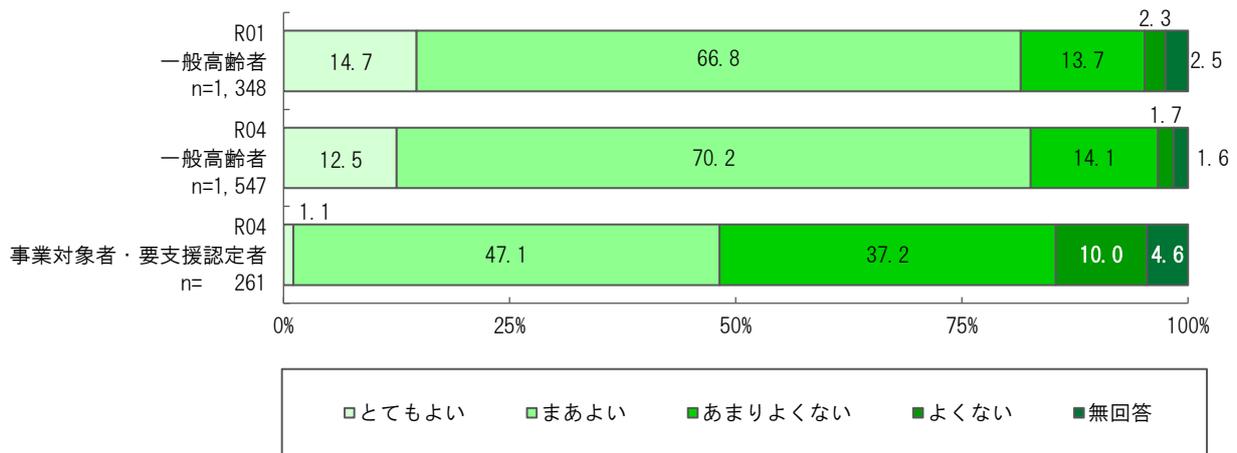
■ 病気で寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(経年比較)



※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない

資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

■ 健康状態（経年比較）



※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない  
資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

○現在の幸福感では事業対象者・要支援認定者より一般高齢者が幸福感が高い傾向にある。

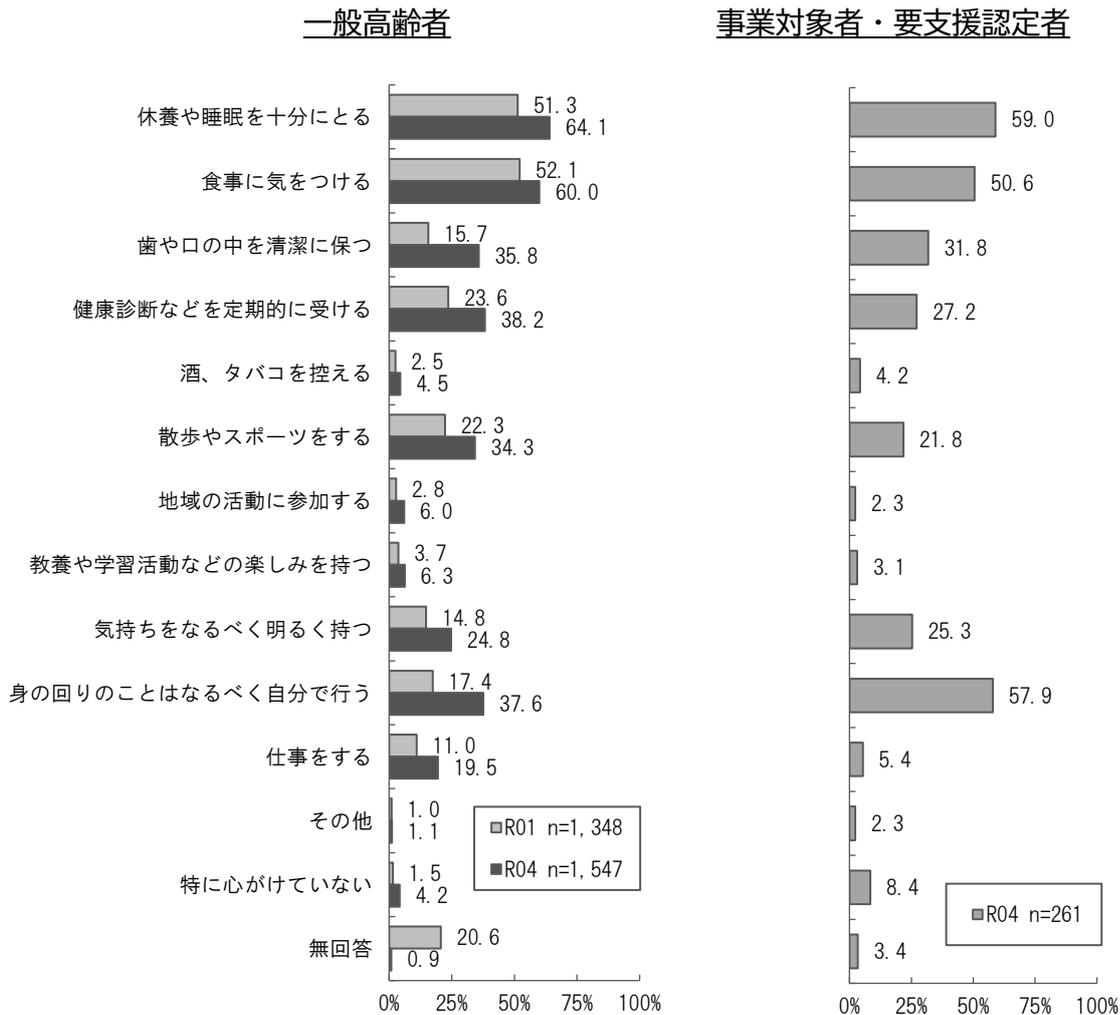
■ 現在どの程度幸せか（経年比較）



資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

- 一般高齢者では、「休養や睡眠を十分にとる」が64.1%と最も高く、次いで「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」が60.0%となっている。
- 事業対象者、要支援認定者では、「休養や睡眠を十分にとる」が59.0%と最も高く、次いで「身の回りのことはなるべく自分で行う」が57.9%となっている。
- 前回調査と比較すると、一般高齢者では、「気持ちをなるべく明るく持つ」、「身の回りのことはなるべく自分で行う」が増加している。

■ 自分の健康のためにどんなことを心がけているか



※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない

資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

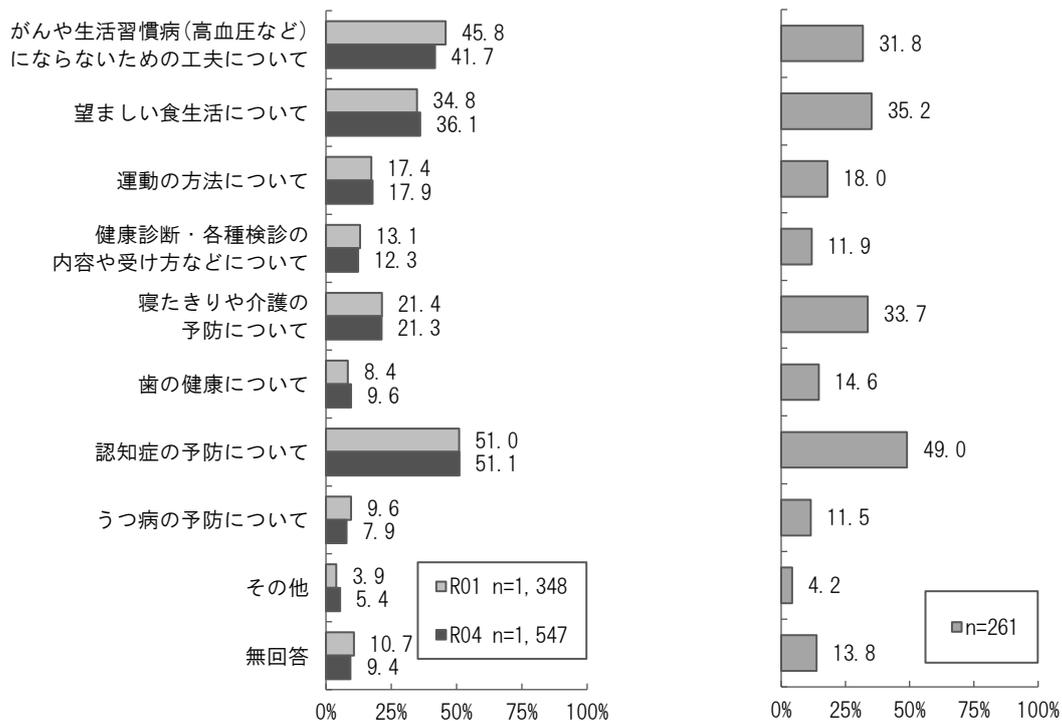
⑦ 健康について

○健康について、認知症の予防について知りたい方が最も多く、次いでがんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫についてや望ましい食生活について知りたい方が多い。

■ 健康について知りたいこと（経年比較）

一般高齢者

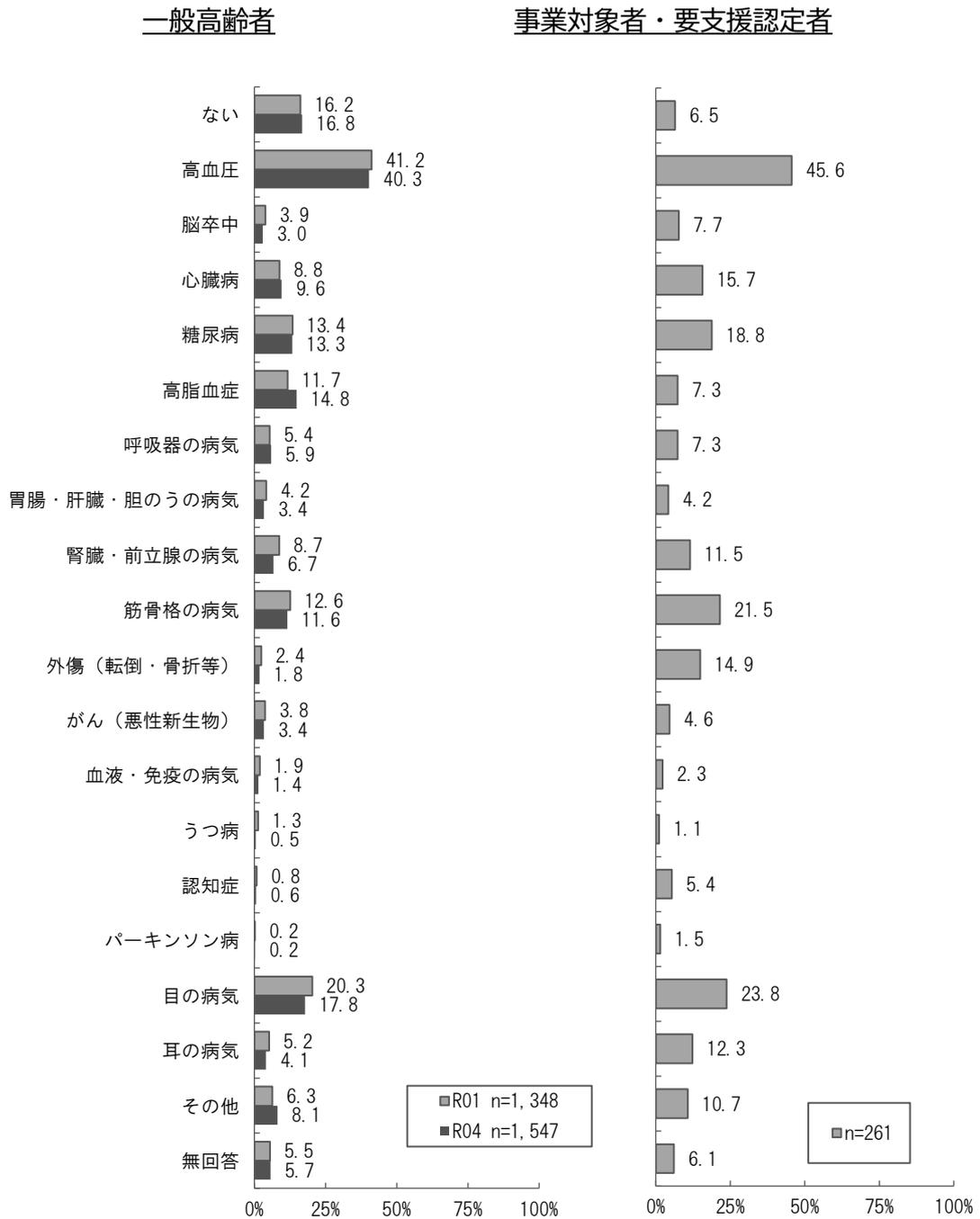
事業対象者・要支援認定者



※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない  
 資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

- 現在治療中、または後遺症のある病気について、一般高齢者では、「高血圧」が40.3%と最も高く、次いで「目の病気」が17.8%、「ない」が16.8%、「高脂血症（脂質異常）」が14.8%、「糖尿病」が13.3%となっている。
- 事業対象者・要支援認定者では、「高血圧」が45.6%と最も高く、次いで「目の病気」が23.8%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が21.5%、「糖尿病」が18.8%となっている。
- 令和元年度調査と比較すると、一般高齢者では、「高脂血症（脂質異常）」が増加している。

■ 現在治療中、または後遺症のある病気はあるか（経年比較）



資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

⑧ 介護保険サービスなどについて

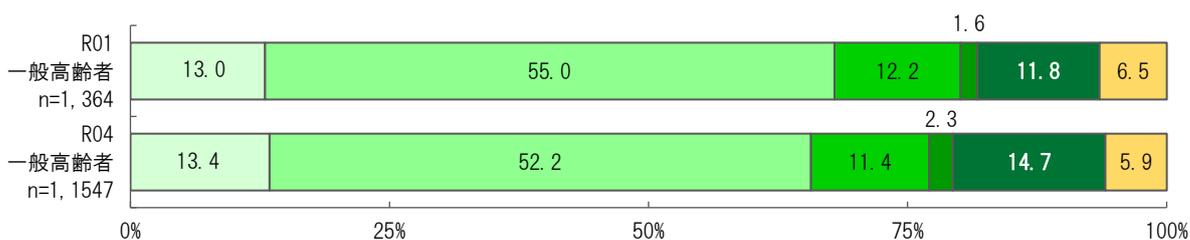
- 自身に介護が必要になった場合、自宅での介護を望む方は 63.9%、そのうち介護サービスを利用しながら介護してほしい方は 48.2%で、前回調査（45.9%）より微増している。
- 家族に介護が必要になった場合、自宅で介護したい方は 65.6%、そのうち介護サービスを利用しながら介護したい方は 52.2%で、いずれも前回調査（68.0%・55.0%）より微減している。
- 介護保険の負担増については、負担はできる限り抑えて欲しいが最も多いが、要介護認定者ではサービスを充実させるために、保険料の負担が増えてもやむを得ないが他に比べて多くなっている。
- 介護保険サービスは、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者では、在宅で訪問型または通所型サービスの充実を望む傾向がある。要介護認定者では、施設サービスの充実を望む割合が多い。

■ あなたに介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいか（経年比較）



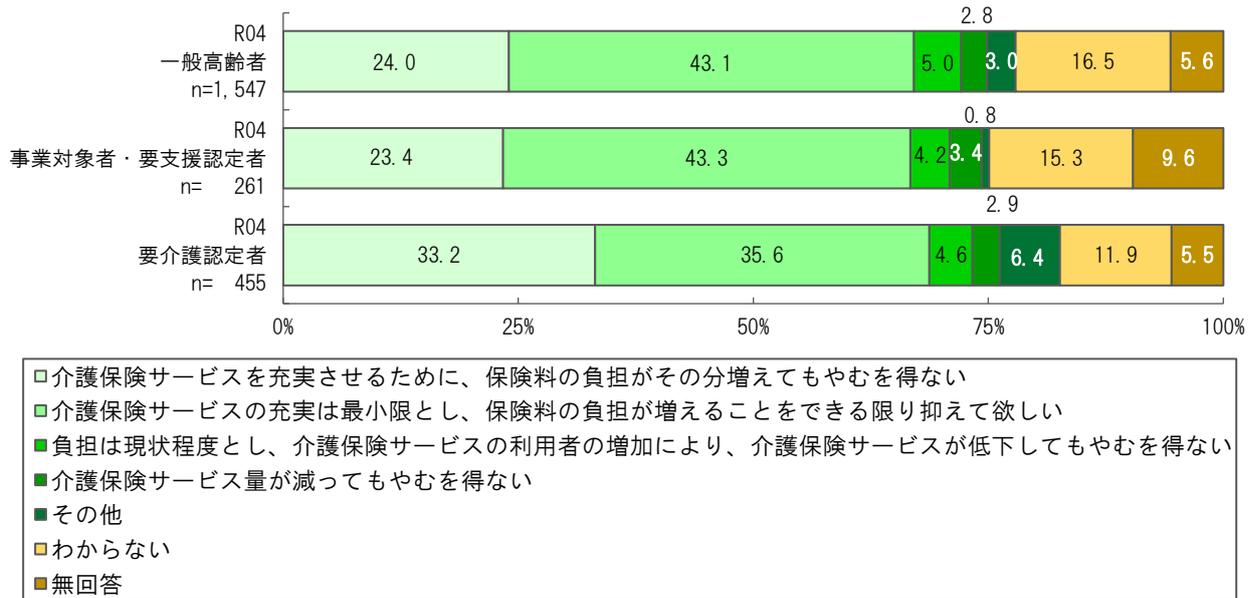
■ なるべく家族のみで、自宅介護してほしい  
■ 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい  
■ 老人ホームなどの施設に入所したい  
■ その他  
■ わからない  
■ 無回答

■ 家族に介護が必要になった場合、どのように介護をしたいか（経年比較）

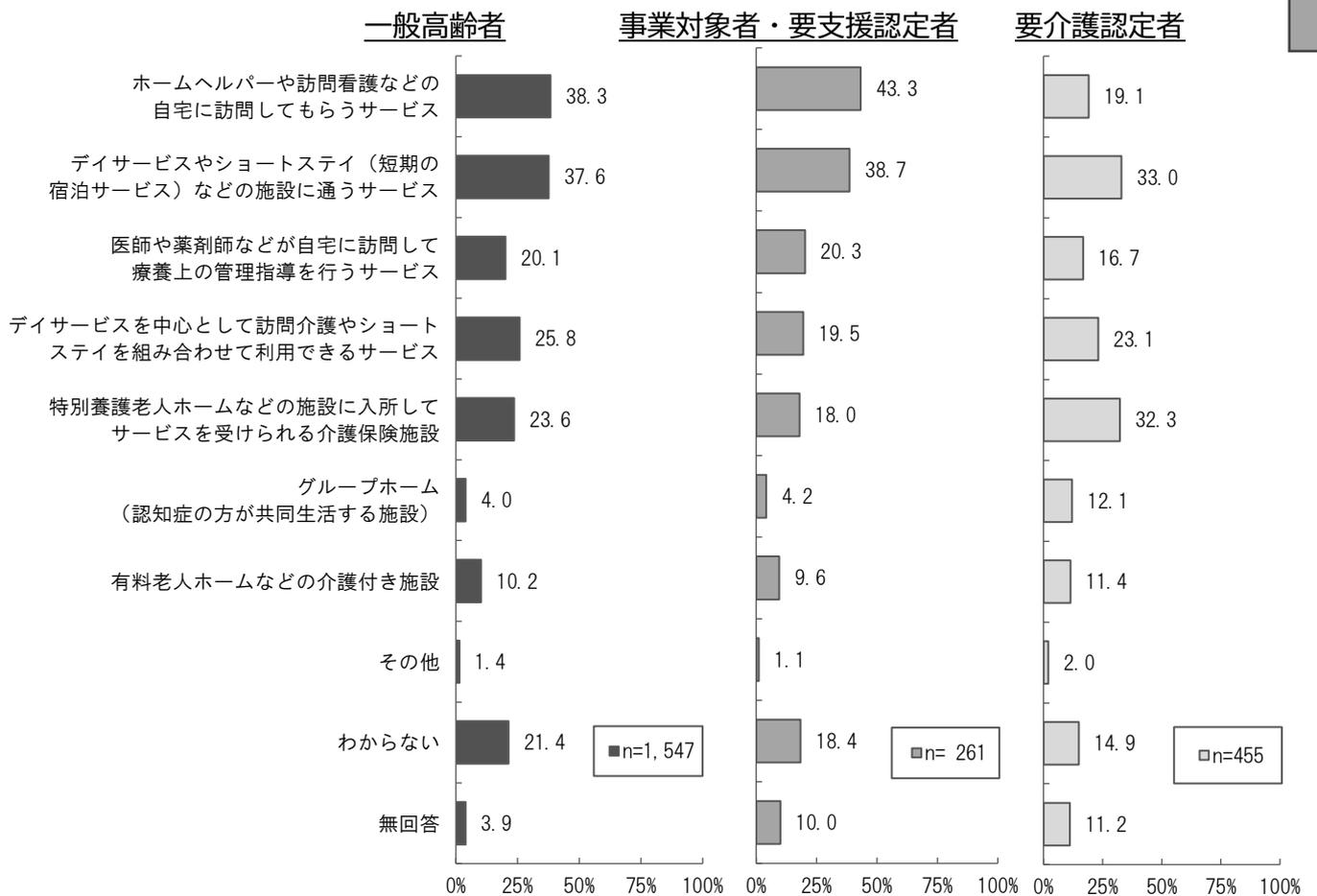


■ なるべく家族のみで、自宅で介護したい  
■ 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護したい  
■ 老人ホームなどの施設に入所させたい  
■ その他  
■ わからない  
■ 無回答

■ 介護保険サービス充実ための負担増についてどう思うか（経年比較）



■ どのような介護保険サービスの充実を望むか



※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない

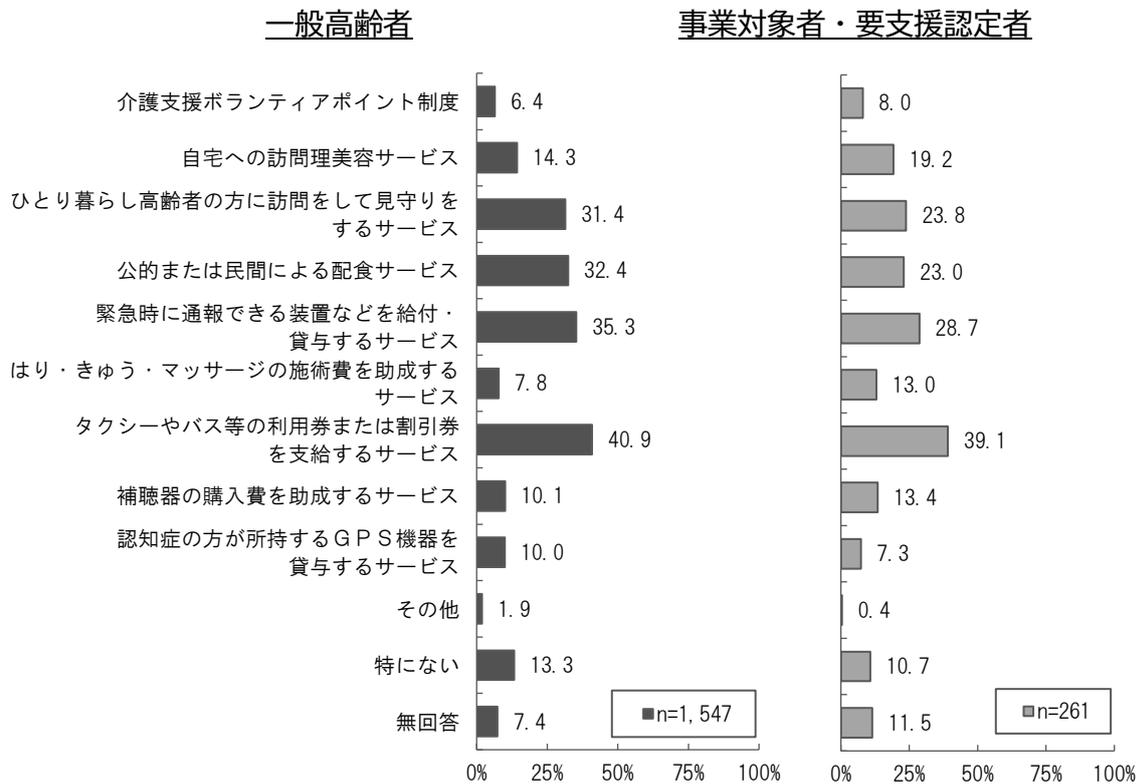
資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

袋井市

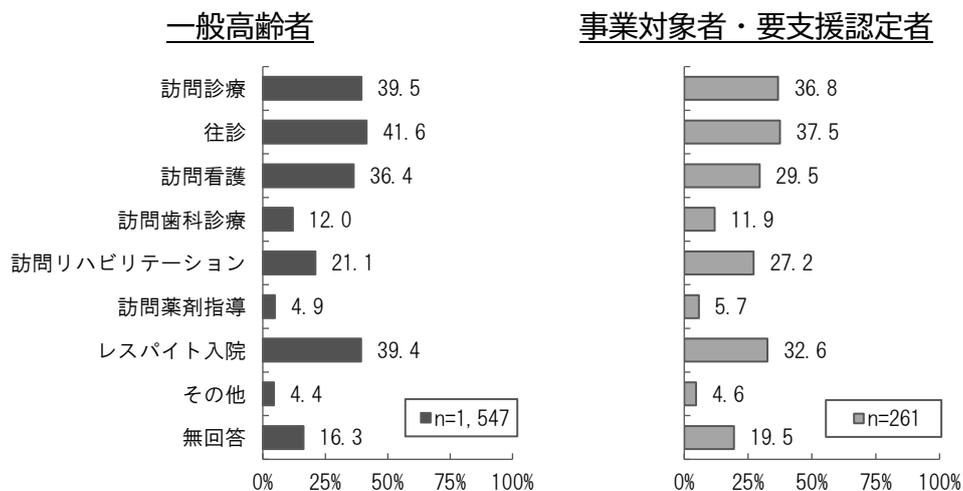
○介護保険サービス以外では、タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス、緊急通報サービス、配食や見守りサービスを望む方が多い。

○訪問型の医療サービスのうち、訪問診療や看護、往診やレスパイト入院（介護者の事情により一時的に介護が困難となった場合に短期入院できる）を望む方が多い。

■ 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて  
どのようなサービスの充実を望むか



■ どのような医療サービスの充実を望むか



※令和4年度と調査方法が異なるため、事業対象者・要支援認定者の経年比較はない  
資料：令和4年度 袋井市高齢者の生活と意識に関する調査 調査結果報告書

## 6 介護サービス事業所へのアンケート調査結果

### (1) 調査の目的

本計画を策定するにあたり、介護サービス事業所の実態を把握し、施策の改善や充実を図るため、介護保険等に関する意識等について調査を実施しました。

### (2) 調査の概要

対象	袋井市で介護サービスを提供している 104 事業所
調査方法	各事業所へメール送付
調査期間	令和5年8月8日～8月31日
有効回収数	84 件
有効回収率	80.8%

### (3) 調査結果の表示方法

- 回答は各設問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。

### (4) 調査結果

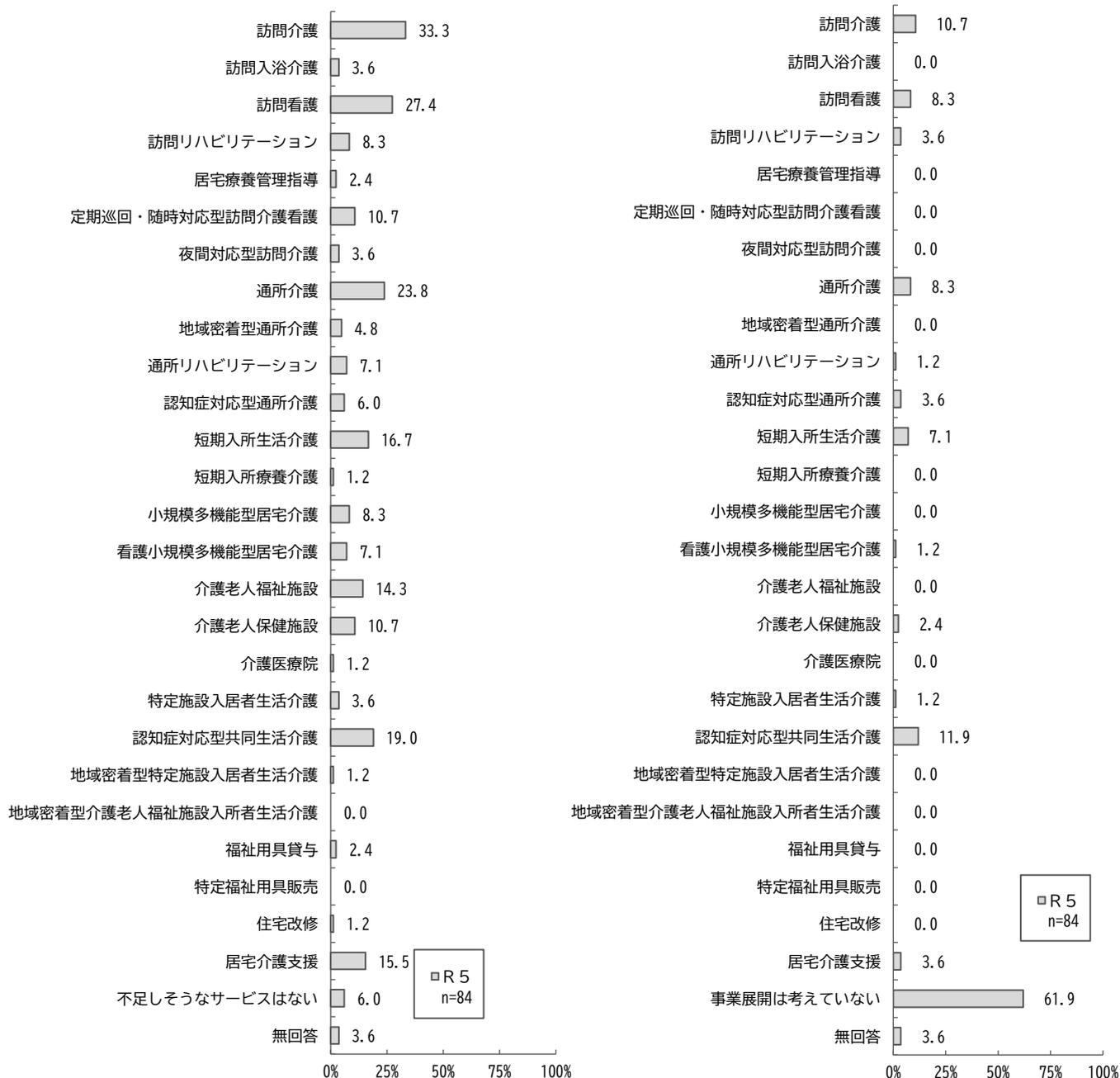
#### ① 介護サービスについて

○今後、需要の増加が見込まれるサービスは、「訪問介護」が 33.3%で最も高く、次いで「訪問看護」が 27.4%、「通所介護」が 23.8%、「認知症対応型共同生活介護」が 19.0%となっている。

○事業展開を考えている介護サービスは、「事業展開は考えていない（分からない）」が 61.9%で最も高く、次いで「認知症対応型共同生活介護」が 11.9%、「訪問介護」が 10.7%となっている。

■ 今後、需要の増加が見込まれるサービス  
(複数回答)

■ 事業展開を考えているサービス  
(複数回答)



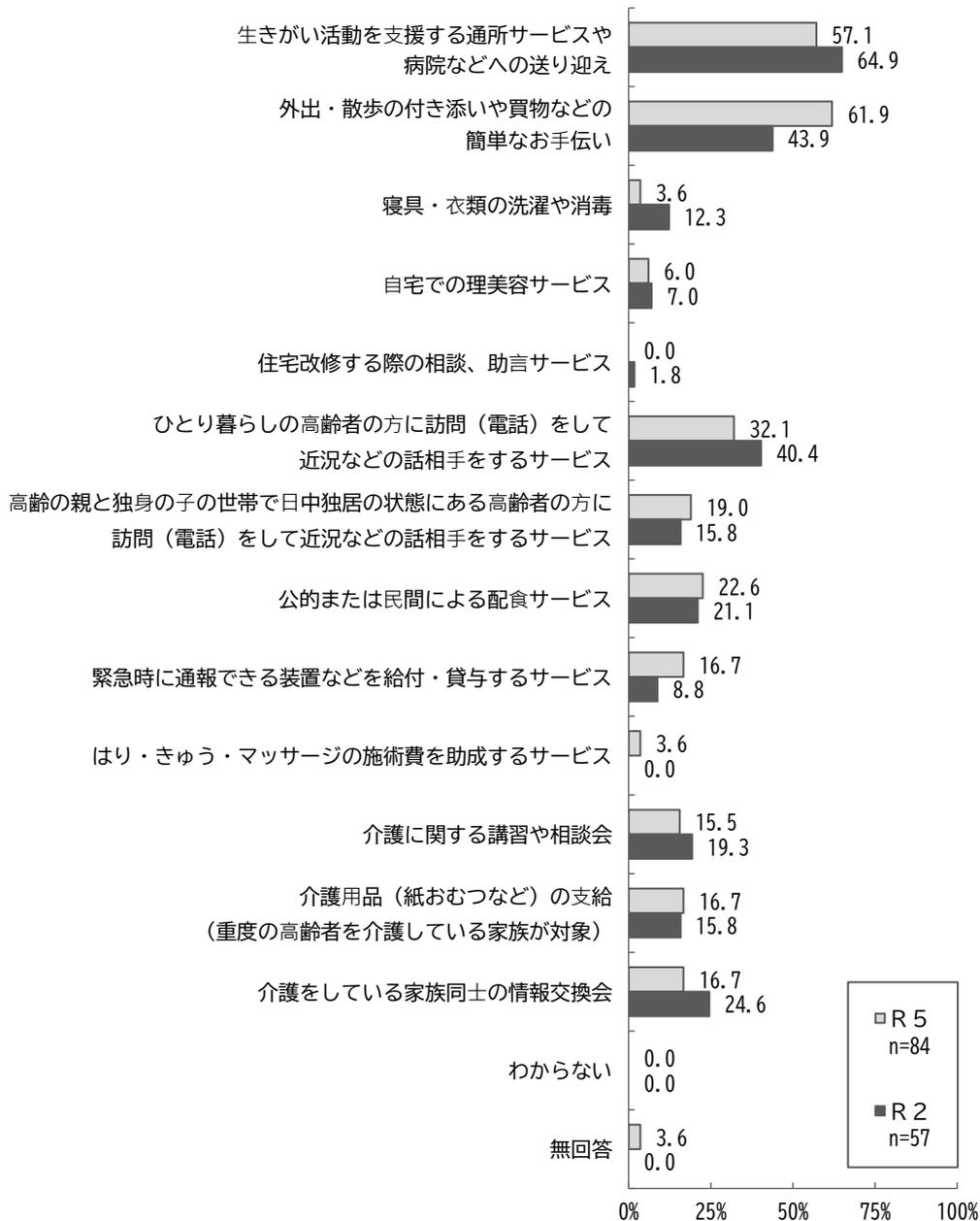
資料：令和5年度 袋井市介護サービス事業所アンケート調査結果報告書

② 介護サービス以外で必要なものについて

○介護サービス以外で必要だと思うものは、「外出・散歩の付き添いや買物などの簡単なお手伝い」が61.9%で最も高く、次いで「生きがい活動を支援する通所サービスや病院などへの送り迎え」が57.1%、「ひとり暮らしの高齢者の方に訪問（電話）をして近況などの話相手をするサービス」が32.1%、「公的または民間による配食サービス」が22.6%となっている。

○令和2年度調査と比較すると、今回調査では「外出・散歩の付き添いや買物などの簡単なお手伝い」が18ポイント増加している。

■ 介護サービス以外で必要だと思うもの（複数回答）（経年比較）

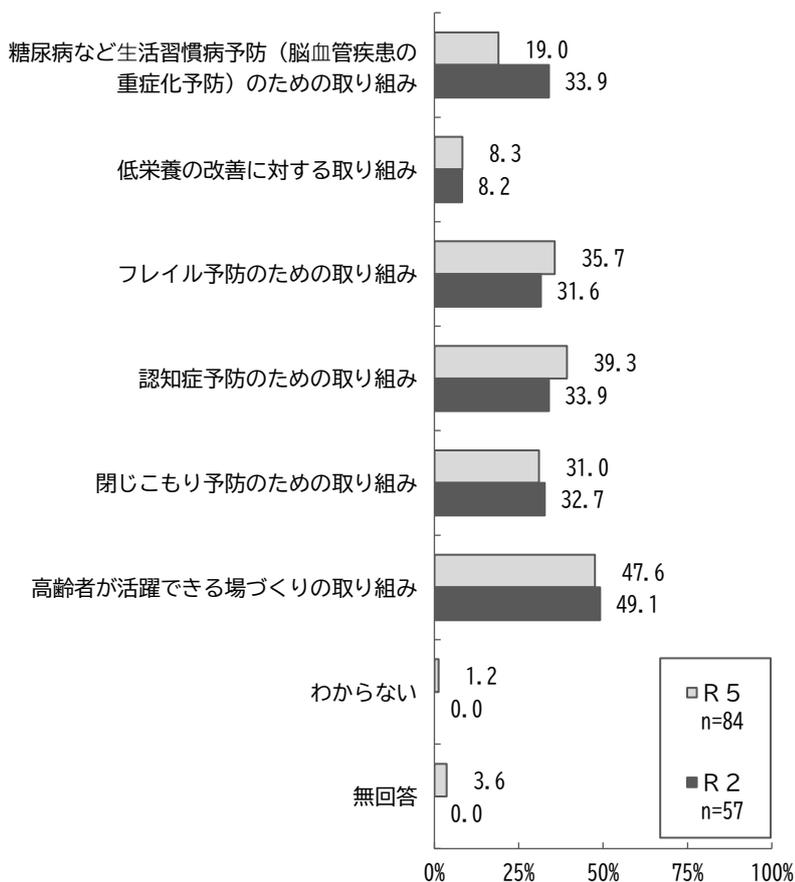


資料：令和5年度 袋井市介護サービス事業所アンケート調査結果報告書

③ 要介護状態にならないための取り組みについて

○要介護状態にならないための取り組みとして必要なものは、「高齢者が活躍できる場づくりの取り組み」が 47.6%で最も高く、「認知症予防のための取り組み」が 39.3%、「フレイル予防のための取り組み」が 35.7%、「閉じこもり予防のための取り組み」が 31.0%となっている。  
 ○令和2年度調査と比較すると、「フレイル予防のための取り組み」と「認知症予防の取り組み」が増加している。

■ 要介護状態にならないための取り組みとして、必要だと思うもの（複数回答）（経年比較）



※ 令和2年度は回答が3つまで、令和5年度は回答が2つまでのため、令和2年度の回答率を2/3として集計。

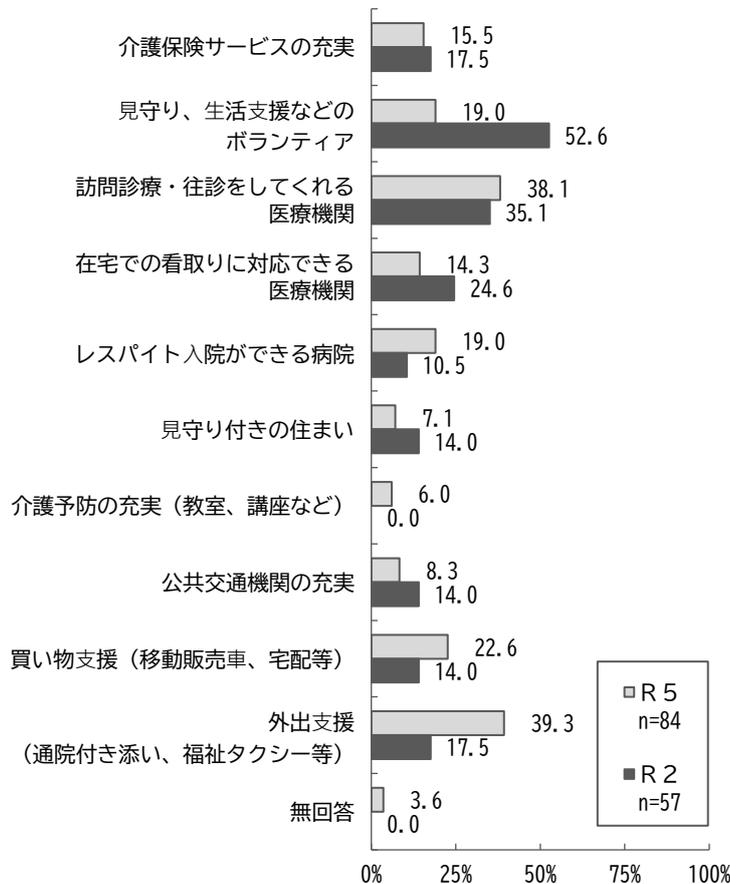
資料：令和5年度 袋井市介護サービス事業所アンケート調査結果報告書

④ 在宅で暮らしていくために不足しているものについて

○在宅で暮らしていくために不足しているものは、「外出支援（通院付き添い、福祉タクシー等）」が39.3%で最も高く、次いで「訪問診療・往診をしてくれる医療機関」が38.1%、「買い物支援（移動販売車、宅配等）」が22.6%、「見守り、生活支援などのボランティア」と「レスパイト入院ができる病院」がともに19.0%となっている。

○令和2年度調査と比較すると、今回調査では「訪問診療・往診をしてくれる医療機関」、「レスパイト入院ができる病院」、「介護予防の充実（教室、講座など）」、「買い物支援（移動販売車、宅配等）」、「外出支援（通院付き添い、福祉タクシー等）」が増加している。

■ 在宅で暮らしていくために不足していると思うもの（複数回答）（経年比較）



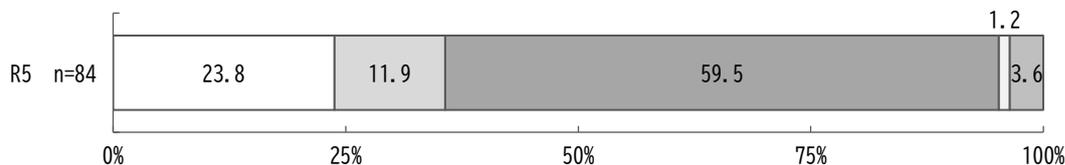
※ 令和2年度は単数回答、令和5年度は回答が2つまでのため、令和2年度の回答率を2倍として集計。

資料：令和5年度 袋井市介護サービス事業所アンケート調査結果報告書

⑤ 介護人材について

○事業所における人材不足の状況について、「求人募集しても応募がなく、不足している」が59.5%で最も多く、次いで「今は、充足している」が23.8%、「求人募集していないが、不足している」が11.9%となっている。

■ 介護人材不足についての事業所の状況

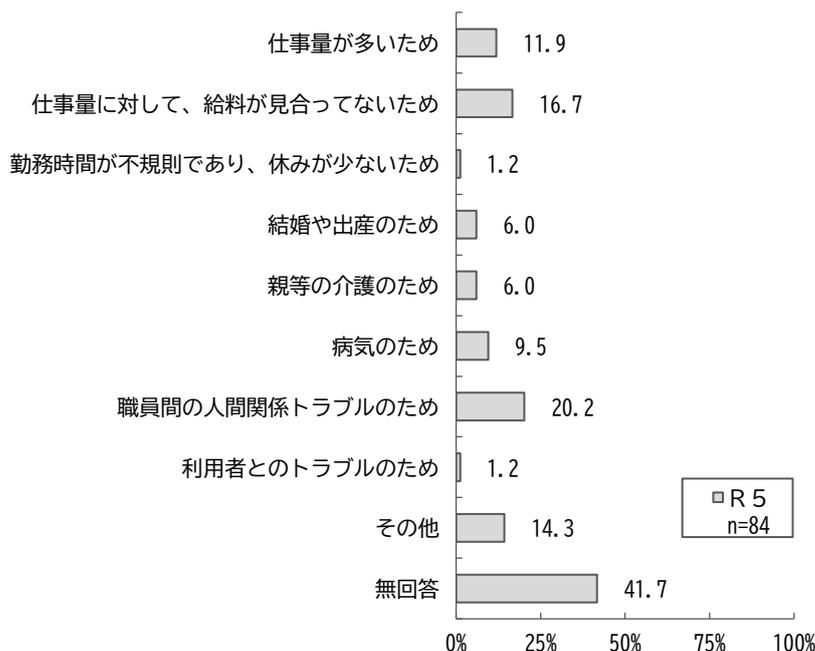


- 今は、充足している
- 求人募集していないが、不足している
- 求人募集しても応募がなく、不足している
- わからない
- 無回答

資料：令和5年度 袋井市介護サービス事業所アンケート調査結果報告書

○離職した理由として考えられることについて、「職員間の人間関係トラブルのため」が20.2%で最も高く、次いで「仕事量に対して、給料が見合っていないため」が16.7%、「仕事量が多いため」が11.9%となっている。

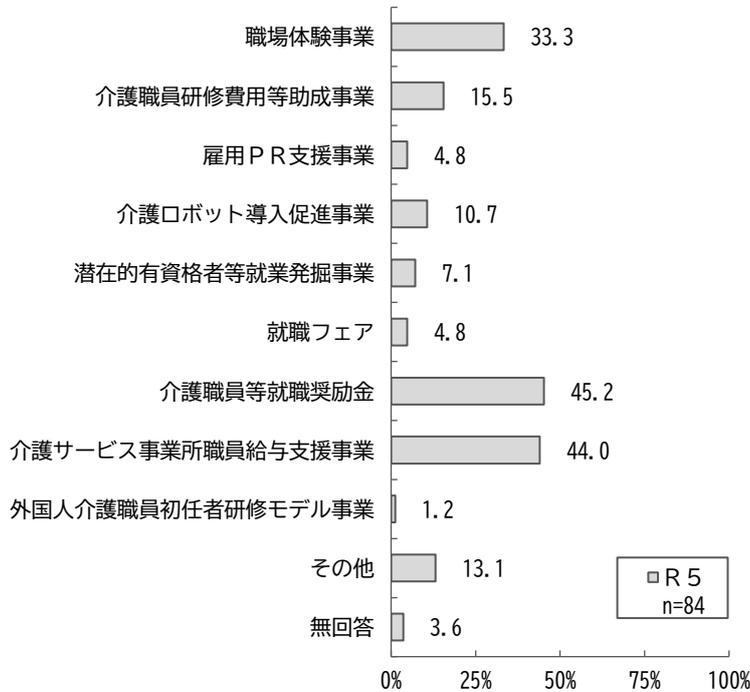
■ 離職理由として考えられること



資料：令和5年度 袋井市介護サービス事業所アンケート調査結果報告書

○介護人材確保において、有効であると考える事業について、「介護職員等就職奨励金」が45.2%で最も高く、次いで「介護サービス事業所職員給与支援事業」が44.0%、「職場体験事業」が33.3%となっている。

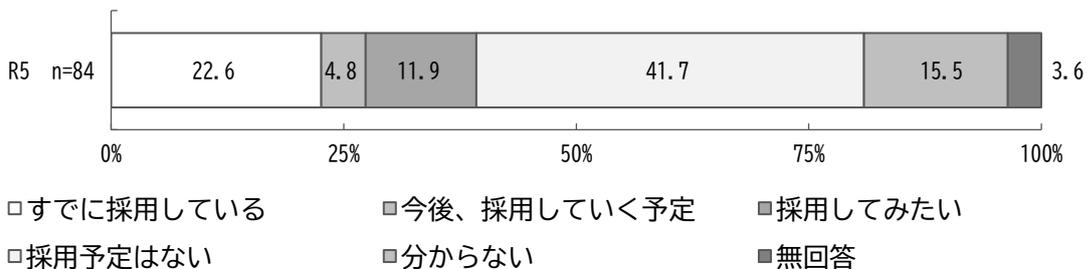
■ 介護人材確保のために有効と考えられる事業



資料：令和5年度 袋井市介護サービス事業所アンケート調査結果報告書

○外国人を職員として採用する予定について、「採用予定はない」が41.7%、「すでに採用している」が22.6%、「分からない」が15.5%、「採用してみたい」が11.9%、「今後、採用していく予定」が4.8%となっている。

■ 外国人職員の採用



資料：令和5年度 袋井市介護サービス事業所アンケート調査結果報告書

## 7 前期計画の評価

### (1) 人口・要介護認定・給付の状況

第8期計画期間中の人口、高齢化率について検証すると、高齢者人口は見込みよりも微増しましたが、ほぼ推計どおりで推移しました。総人口は見込みより増加し、令和4年、令和5年の高齢化率は推計より若干高くなりました。

第8期計画期間中の要介護認定者数、要介護認定率について検証すると、令和3年度の要介護認定者数は見込みよりも微減しましたが、令和4年度では微増となっています。要介護認定率はほぼ見込みどおりとなっており、各年度15%台で推移しています。

総給付費は、令和3年度、令和4年度ともに計画値よりも実績値が下回る結果となりましたが、令和4年度は令和3年度と比較すると、実績総給付費は増加しています。

### (2) 第8期計画の指標の状況

令和3年3月に策定した第8期計画においては、「全ての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせる長寿社会を築きます。」を基本理念として、以下3つの基本目標の達成に向けて3年間取り組んできました。

評価の見方



順調(90%以上)



概ね順調(70%以上)



低調(70%未満)

基本理念	基本目標	施策の方向性	取組事項	評価(実績/計画)	評価の内容
全ての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせる長寿社会を築きます	1 元気でいきいきと暮らせる健康長寿社会の実現	1 健康づくり、自立支援、介護予防・重度化防止施策の充実	1 健康づくりの推進	◎ 92.0%	望ましい食習慣の定着を図るため、健康づくり食生活推進員を対象にリーダー研修や各地区での伝達講習を実施したが、コロナ禍の影響により、活動回数や参加人数が計画値には至らなかった。また、心の健康づくりの推進のため、ゲートキパー養成研修会で傾聴方法についてロールプレイを実施し、多くの参加者から研修会の理解を得られたことなどから「順調」とした。
			2 切れ目のない介護予防の推進	○ 74.6%	通いの場や楽楽教室等の介護予防教室を感染対策を徹底しながら実施するとともに、保健事業と介護予防の一体的取組において保健師や栄養士が個別指導等を実施した。一方で、医療と介護の多職種で検討を行う自立支援型地域ケア会議がコロナ禍により達成度が40%と計画値を下回ったことなどから「概ね順調」とした。
			3 地域リハビリテーションの推進	◎ 150.5%	住民主体の伝伝体操の場等にリハビリ専門職や健康運動指導士を派遣し、効果的な体操や体操測定等を実施したことにより、派遣回数は160%、参加延べ人数も141%と計画値を大きく上回ったことなどから「順調」とした。
	1 地域共生社会の実現		1 地域包括ケアシステムの充実	◎ 123.5%	メロウねっとや班内回覧により総合相談窓口の周知に努めたことにより、相談件数は令和3年度より355件増加した。また、地域包括支援センターが主催する地域ケア会議の積極的な開催を促したことにより、検討件数は令和3年度より10件増加するなど計画値を大きく上回ったことなどから「順調」とした。
			2 支え合う仕組みの構築・ネットワークの充実	◎ 92.7%	第2層生活支援コーディネーターと連携して、生活支援活動組織の立ち上げに向けた機運の醸成を図ったが、計画値5箇所には届かなかったものの、居場所や見守りネットワークの立ち上げ支援を行ったことにより、新たに居場所が4箇所、見守りネットワークが18箇所立ち上がったことなどから「順調」とした。
			3 生きがいづくり・社会参加	△ 68.5%	介護施設や高齢者宅で行う介護ボランティアの活動がコロナ禍により制限されたため、登録者数が50%、活動回数も37%と計画値を大きく下回ったことなどから「低調」とした。今後は、新規登録者を増やすため、事業の周知や活動の場を増やし、登録者と施設を結び付けるなど、高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援していく。
			4 在宅生活への支援	◎ 113.6%	通院・外出支援サービスは、コロナ禍の影響による外出自粛により利用者が減少したが、75歳以上のひとり暮らし高齢者宅への看護師や栄養士の訪問による健康状況の確認や保健指導の訪問件数が105%、配食サービス、紙おむつ支給事業、理美容サービス、はり・灸・マッサージ施術費助成などの在宅福祉サービスが順調に利用されていることなどから「順調」とした。
			5 安心・安全の確保	○ 74.0%	ひとり暮らし高齢者等に日常生活の安全と緊急事態への対応を図るため、緊急通報用機器を貸与したが、携帯電話の普及により令和3年度より12台減少した。計画値に対しても74%と貸与数は減少傾向にあるが「概ね順調」とした。
	2 共に支え合い、地域で安心して生活できる社会の実現	2 認知症施策の推進	1 認知症に対する正しい理解の促進	△ 60.3%	認知症キャラバンメイトの登録者数は令和3年度より3人増加したが、コロナ禍の影響により、認知症サポーター養成講座の実施回数が26%、実施人数が51%と大きく計画値を下回ったことなどから「低調」とした。今後は、地域住民をはじめ、事業所や学校、金融機関等、多様な対象者への普及啓発を図っていく。
			2 認知症予防の推進	◎ 101.4%	ふれあい・いきいきサロン設置自治会数は令和3年度より7箇所減少したが、ふくろい健康保健室における認知症予防セミナーの開催や、通いの場（介護予防体操、居場所、サロン）づくりの普及に努めたことにより、新たに、介護予防体操5箇所、居場所が4箇所立ち上がったことなどから「順調」とした。
			3 切れ目のない相談・支援体制の充実	△ 66.5%	医師やリハビリ専門職等がチームを組む「認知症初期集中支援チーム」の開催を月1回計画していたが、コロナ禍により専門職が会することが困難となり、開催回数を制限したことなどから開催回数も9回、支援人数も7人と目標値を達成できなかったことなどから「低調」とした。
			4 地域で支え合い、ともに暮らす社会の実現	◎ 120.5%	地域で見守る「はいかいSOSネットワーク事業」の周知や、QRコード付き見守りシールや個人賠償責任保険の導入により、はいかいの心配のある方の新規登録者数が29人と計画値を9人上回るとともに、協力事業者数も計画値には届かなかったものの令和3年度から1事業所増加したことなどから「順調」とした。
	3 在宅医療・介護連携の推進		1 在宅医療・介護連携の推進	◎ 153.8%	袋井市版人生会議手帳「こころのノート」を活用したACP（アドバンス・ケア・プランニング）研修会の参加者はコロナ禍により70人と大きく計画値を下回ったが、総合相談窓口に顧問医師会の在宅医療介護連携コーディネーターを月2回配置し、相談体制を強化したことにより、計画値に対し398%の736件と大幅に計画値を上回ったことなどから「順調」とした。
			2 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の推進	○ -	コロナ禍により、医療と介護の専門職が会することが困難であったため、Webによる会議や研修会を定着させ、多職種による意見交換や多機関の情報共有等を重点的に行うことで、連携が推進できたことなどから「概ね順調」とした。
	3 安心な生活を支援するための介護保険制度の推進	1 保険事業の円滑な実施	1 介護サービス事業の推進	◎ 94.4%	高齢化率や認知症高齢者の増加などの人口動態やサービス需要の見込み量を踏まえ、施設サービス・居宅系サービス・地域密着型サービスをバランスよく組み合わせた介護サービスが提供できたことなどから「順調」とした。
2 介護サービスの質の確保			◎ 98.2%	介護認定調査結果やケアプランの点検を行い、居宅介護支援員のケアマネジメントの実践に向けた取組の支援や資質の向上に取り組んでいることなどから「順調」とした。	
3 介護人材の確保			○ -	新たに外国人初任者研修モデル事業を実施し、外国人の人材確保に努めたことなどから「概ね順調」とした。引き続き、県の行っている介護人材確保対策事業の周知・協力をを行い、介護人材のすそ野の拡大を推進していく。	